

# 36 | エラー情報はこちら！

36.1	『Pro-Studio EX』のエラー .....	36-2
36.2	2Way ドライバのエラー表と Syslog 機能 .....	36-9
36.3	『Pro-Server EX』のエラー .....	36-16
36.4	エラーメッセージ .....	36-60

## 36.1 『Pro-Studio EX』のエラー

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
未定義のエラーが発生しました。	プログラムを構成するファイルが損失しているか、破壊されている可能性があります。インストール先フォルダを確認してください。	-
ネットワークプロジェクトファイルを開くことができません。	プロジェクト情報に矛盾があります。プロジェクトファイルが破損していないか確認してください。	-
xx が見つかりません。 ファイル名およびファイルの保存場所が正しいか確認してください。	履歴情報に登録しているネットワークプロジェクトファイルが指定の箇所に存在するか確認してください。 移動されている場合は、移動後のファイルを指定して開いてください。	-
ネットワークプロジェクトファイルの保存に失敗しました。	メッセージの指示に従い、エラーの原因を調べてください。	-
バックアップファイルの作成に失敗しました。	メッセージの指示に従い、エラーの原因を調べてください。	-
xx を開くことができません。	プロジェクト情報の構成に誤りがあり、読み込みに失敗したか、または作成バージョンの異なるネットワークプロジェクトファイルを指定した可能性があります。プログラムのバージョンを確認してください。	-
ファイルの書込みに失敗しました。	違う場所を指定して、再度実行してください。	-
アプリケーションを起動することができません。 アプリケーションパス :xx	プログラム構成ファイルが、指定の場所に存在しません。表示されたファイルパスにファイルが存在するか確認してください。ない場合は、修復インストールを行ってください	『Pro-Server EX インストールガイド』
指定されたフォルダが存在しません。フォルダ名を確認し、指定しなおしてください。	フォルダを指定し直してください。	-
PRW ファイルを開けません。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-
PRX ファイルを開けません。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-
PRW ファイルが見つかりません。	指定したパスに PRW ファイルが存在するか、確認してください。	-
ProPB がインストールされていないか、自動転送が有効になっていません。	自動転送に対応したバージョンの『GP-PRO/PB for Windows』をインストールしてください。	-
既に ProPB が起動中のため、起動させることができません。	現在起動している『GP-PRO/PB for Windows』を終了してください。	-
ProPB を起動させることができません。	『GP-PRO/PB for Windows』がインストールされているか確認してください。インストールされている場合は、『GP-PRO/PB for Windows』が破損している可能性があるため、再インストールしてください。	-

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
転送準備フラグにエラーがあります。	指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	-
実在しない PLC コードが使用されています。 ドライバのインストール状況を確認してください。	『Pro-Server EX』にインストールされているプロトコルが最新ではありません。オンラインアップデートを行ってください。	-
PLC タイプが一致しません。 PLC タイプの設定を確認してください。	『Pro-Server EX』にインストールされているプロトコルが最新ではありません。オンラインアップデートを行ってください。	-
ファイルにアクセスできません。	指定した箇所にファイルが存在しないか、アクセス権の問題です。指定ファイルを再度確認してください。	-
PRW 内の指定されたファイルが見つかりません。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-
PRW ファイル名が入力されていません。	PRW ファイル名を入力してください。	-
一時保存ファイルを作成できませんでした。	テンポラリファイル作成フォルダの空き容量が少ない可能性があります。ドライブの空き容量を確認し、少ない場合は空き容量を増やしてください。	-
入力されたファイルの拡張子が ".prw" ではありません。	拡張子が ".prw" のファイルを指定してください。	-
画面プロジェクトファイルが壊れています。正常な画面プロジェクトファイルを指定してください。	指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	-
シンボルテーブルファイルが見つかりません。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-
デバイスアドレスを取得できませんでした。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-
一時ファイルの削除に失敗しました。	再度実行してください。	-
設定ファイルからの読み込みに失敗しました。	指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	-
画面プロジェクトファイルのオープンに失敗しました。	指定した画面プロジェクトファイルが存在するか確認してください。存在する場合は指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	-
画面プロジェクトファイルの読み込みに失敗しました。	指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	-
指定された画面プロジェクトファイルにエラーがあります。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
画面プロジェクトファイル内に必要なデータがありません。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-
一時ファイルが作成できません。	テンポラリファイル作成フォルダの空き容量が少ない可能性があります。ドライブの空き容量を確認し、少ない場合は空き容量を増やしてください。	-
指定されたファイルは画面プロジェクトファイルではありません。 GP-Pro EX で作成した画面プロジェクトファイルを指定してください。	拡張子が ".prx" のファイルを指定してください。	-
表示器から取得したファイルにアクセスできません。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-
設定ファイルにデータがありません。	ファイルが破損している可能性があります。プロジェクトファイルを確認してください。	-
既にネットワークプロジェクトファイルは開いています。	既にもう片方の『Pro-Studio EX』で指定したネットワークプロジェクトファイルが開かれていますので、そちらで編集作業をおこなってください。	-
グループを指定してください。	グループを指定して実行してください。	-
ファイル xx に対するアクセス権がありません。	指定したネットワークプロジェクトファイルへのアクセス権を確認してください。	-
指定された xx ファイルはありません。	指定したファイルやフォルダが存在するか、またはネットワーク先のファイルを指定した場合はネットワークが正常かご確認ください。	-
指定された xx ファイルは未サポートの構造が壊れています。	ファイルの形式、もしくはそのファイルを作成したアプリケーションをご確認ください。	-
指定された xx ファイルは未サポートのバージョンのファイルです。必要なデータテーブルがありません。	ファイルの形式、もしくはそのファイルを作成したアプリケーションをご確認ください。	-
指定された xx ファイルは別プログラムが使用中です。	指定されたファイルもしくはファイルの中の一部のテーブルを別のアプリケーションが利用中でロックされています。そのアプリケーションの使用を終了してから再操作してください。	-
xx ファイルアクセス中にシステムエラーが発生しました。処理を中断します。	指定したファイルが壊れていないか確認してください。動作環境やアプリケーションのバージョンが適合しているか確認してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	動作環境
ネットワークプロジェクトの内部操作中にシステムエラーが発生しました。	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストールレーションガイド』
ネットワークプロジェクトの内部操作中 (Redo 中) にシステムエラーが発生しました。	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストールレーションガイド』

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
ネットワークプロジェクトの内部操作中 (Undo 中) にシステムエラーが発生しました。	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストールレーションガイド』
ディスクの空き容量が足りません。	ドライブの空き容量を確認し、少ない場合は空き容量を増やしてください。	-
メディアが書き込み禁止になっています。	ファイル/フォルダへのアクセス権があるかどうかを確認してください。	-
ファイルがないかファイルに必要なアクセス許可がありません。	ファイル/フォルダへのアクセス権があるかどうかを確認してください。	-
メディアの準備ができていません。	メッセージの指示に従い、エラーの原因を調べてください。	-
シンボルの構成が不正です。	シンボルシートを削除して、再度シンボルの登録を行ってください。	-
インストール先ディレクトリの Content フォルダ内にアクションに関する情報が存在しません。	更新インストールを行って、アクションを復元してください。	-
DLL 読み込みエラー：	更新インストールを行って、アクションを復元してください。	-
最新の更新に失敗しました。	参照ボタンを押して、リンクし直してください。	-
指定された参加局は既にメモリリンク以外の接続機器が指定されて登録されています。 メモリリンクが登録されている既存の参加局を選択するか、名前を変えて参加局を登録してください。	接続機器にメモリリンクが設定されている参加局を選択するか、まだ登録されていない参加局名を指定してください。	「31.5 設定ガイド」
デバイスアクセスログファイルにアクセスできません。	指定されたファイルが存在するか確認してください。存在する場合はファイルのアクセス権を確認してください。	「29.6 デバイスアクセスログ」
デバイスアクセスログファイルの xx 行目が異常です	指定された行を修正、または削除し、再度デバイスキャッシュバッファのインポートを行ってください。	「29.5.2 デバイスアクセスログからインポート登録したい」
1 キャッシュバッファ内のレコード数が 1000 件を超えました。 インポートを中止します。	同一の参加局名が指定されたデバイスアクセスログが 1000 件以上あります。 1000 件以下にしてください。	「29.5.2 デバイスアクセスログからインポート登録したい」
デバイスアクセスログファイル内に、ネットワークプロジェクトファイルで登録されていない参加局 xx が指定されています。 登録されていない参加局を使用している行はインポートできません。	参加局を追加し、再度デバイスキャッシュバッファのインポートを実行してください。	「29.5.2 デバイスアクセスログからインポート登録したい」
別名ファイルの読み込みに失敗しました。	テンプレートファイルの編集にて文字列置換テーブル設定を確認してください。	「5.1.2 設定ガイド」
該当するレコード番号のレシピがありません。	テンプレートファイルの編集にてレシピレコード番号の設定を確認してください。	「12.3 設定ガイド」

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
セル矢印の設定が不正です。目盛りまたは矢印の開始・終了値が正しくありません。	テンプレートファイルの編集にてセル矢印の設定を確認してください。	「5.3.2 設定ガイド」
文字列に置換してデバイス値の書き込みはできません。書き込み時は置換指定を解除してください。	文字列に置換してデバイス値の書き込みはできません。書き込み時は置換指定を解除してください。	「5.1.2 設定ガイド」
テスト読み込みできません。以下の項目を確認してください。 - ネットワークプロジェクトファイル (npk) が正しく Pro-Server EX にロードされている。 - 対象となる局が参加している。 - ケーブルが断線していない。	以下の項目を確認してください。 - ネットワークプロジェクトファイル (NPX) が正しく Pro-Server EX にロードされているか - 対象となる局が参加しているか - ケーブルが断線していないか	-
テスト書き込みできません。以下の項目を確認してください。 - ネットワークプロジェクトファイル (npk) が正しく Pro-Server EX にロードされている。 - 対象となる局が参加している。 - ケーブルが断線していない。	テスト書き込みできません。以下の項目を確認してください。 - ネットワークプロジェクトファイル (NPX) が正しく Pro-Server EX にロードされている。 - 対象となる局が参加している。 - ケーブルが断線していない。	-
アクションエリアが小さくて一部データを切り捨てました。	アクションの出力範囲が小さすぎます。テンプレートファイルの編集にて、アクションエリアを広げてください。	「Excel 帳票」アクションの各章
レシピのレコード番号が設定されていないため、レコード番号を特定できませんでした。レシピの設定ダイアログで、レコード番号の指定方法を設定してください。	レシピの設定ダイアログで、レコード番号の指定方法を設定してください。	「12.3 設定ガイド」
アクションエリアが小さくて、書き込みできません。	アクションの出力範囲が小さすぎます。テンプレートファイルの編集にて、アクションエリアを広げてください。	「Excel 帳票」アクションの各章
アクションエリアのサイズが小さすぎます。	アクションの出力範囲が小さすぎます。テンプレートファイルの編集にて、アクションエリアを広げてください。	「Excel 帳票」アクションの各章
ProEasy.dll が見つからないため、起動ボタンの処理を実行できません。Pro-Server EX がインストールされていることを確認してください。	『Pro-Server EX』がインストールされていることを確認してください。	-
起動ボタンを実行する際、Pro-Server EX に対応していない ProEasy.dll が使用されました。Pro-Server EX がインストールされていることを確認してください。	『Pro-Server EX』がインストールされていることを確認してください。	-
Pro-Server EX へのデバイス書き込みでエラーが発生したため、起動ボタンが実行できません。Pro-Server EX のエラーコード：	再度アクションの設定を開き、起動ボタンを配置し直してください。	「5.6.2 設定ガイド」

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
ボタン名が不正です。\\n ボタン名の先頭に数値は使用できません。\\n 以下の記号は使用できません。\\n %Ō?x%、!, " : / \\ = @ [ ] \\n アンダースコアは2つ続けて使用できません。	ボタン名を確認してください。	「5.6.2 設定ガイド」
ボタン名が長すぎます。32 文字以下で指定してください。		
ProEasy.dll が見つからないため、ボタン名が正しいかどうか確認できません。このまま設定を続けますか？		
Pro-Server EX に対応していない ProEasy.dll が使用されたため、ボタン名が正しいかどうか確認できません。このまま設定を続けますか？		
キャプション名が長すぎます。256 文字以下で指定してください。	ボタンのキャプションを確認してください。	「5.6.2 設定ガイド」
EXCEL 帳票アクションアドインが見つからないため、ボタン名の重複チェックができませんでした。ボタン名はこのまま保存されます。	ボタン名を確認してください。	「5.6.2 設定ガイド」
指定されたボタン名は既に使用されています。別のボタン名を設定してください。		
ファイル名に次の文字は使えません ('=+-./\ )。	ファイル名を確認してください。	「5.5.3 設定ガイド」
フォルダ名に次の文字は使えません ('=+-./\ )。	フォルダ名を確認してください。	「5.5.3 設定ガイド」
シート名に次の文字は使えません ('=+-./\ )。	シート名を確認してください。	「5.5.3 設定ガイド」
ファイル名の指定でファイル名が未設定です。設定してください。	ファイル名を設定してください。	「5.5.3 設定ガイド」
フォルダ名の指定でフォルダ名が未設定です。設定してください。	フォルダ名を設定してください。	「5.5.3 設定ガイド」
シート名の指定でシート名が未設定です。設定してください。	シート名を設定してください。	「5.5.3 設定ガイド」
マクロ実行が未設定です。設定してください。	マクロ実行設定を行ってください。	「5.5.3 設定ガイド」
入力した文字が不正です。	入力した文字を確認してください。	「5.5.3 設定ガイド」
フォルダを指定してください。	エクスポートするファイルのフォルダを指定してください。	「5.5.3 設定ガイド」

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
1 行の中に同じアクションエリアを設定することはできません。	1 行中には異なるエリアのアクションを指定してください。	「5.5.3 設定ガイド」
起動コマンド名に入力できる最大文字数は半角で 32 文字です。	起動コマンド名を確認してください。	「5.5.3 設定ガイド」
入力した文字が不正です。		
起動条件が見つかりません。起動条件が登録されているか確認してください。	新しい起動条件を登録してください。	「5.5.3 設定ガイド」
起動ボタンが見つかりません。起動ボタンが登録されているか確認してください。	新しい起動ボタンを登録してください。	「5.5.3 設定ガイド」



## 36.2 2Way ドライバのエラー表と Syslog 機能

2Way ドライバはエラーが発生したとき、以下のエラーを表示器画面の左下に表示します。

画面表示	エラー内容
システムエラー	システムコールのエラー
2Way エラー	2Way ドライバのエラー

### システムエラー

システムエラーは致命的エラーです。

### 2Way エラー

2Way エラーは 2Way ドライバで発生したエラーです。

2Way エラー発生時には表示器の LS2075 に [ 2Way 通信エラーコード ] が格納されます。

2Way エラー ( <原因番号> : <エラー番号 1> : <エラー番号 2> : <エラー番号 3> )

原因番号	エラー種別				エラー原因	対処方法	2Way 通信エラーコード
		1	2	3			
30	致命的	無効	無効	無効	表示器のリソース不足です。	内部的な問題です。発生した場合は「デジタルお客様センター」にお問い合わせください。	FF30
31	致命的	無効	無効	無効	表示器のリソースを解放できませんでした。	内部的な問題です。発生した場合は「デジタルお客様センター」にお問い合わせください。	FF31
32	致命的	無効	無効	無効	表示器のリソースを解放できませんでした。	内部的な問題です。発生した場合は「デジタルお客様センター」にお問い合わせください。	FF32
40	致命的	無効	無効	無効	IP アドレス、ポート番号が設定されていません。	表示器の IP アドレスかポート番号が設定されていません。オフライン画面等で設定し直してください。	FF40
41	致命的	無効	無効	無効	GLC のコントロールとのシンボル状態が異なります。	GLC のシンボルと Pro-Server のネットワークプロジェクトにインポートしたシンボルに違いが発生しています。ネットワークプロジェクトで最新のシンボルを再インポートし、GLC に転送してください。	FF41
51	致命的	無効	無効	プロトコルスタックのエラーコード参照	プロトコルスタック呼び出しでエラーが発生した。	表示器の通信プログラム (TCP/IP) でエラーが発生した事を意味します。オフライン画面で、イーサネット設定の内容を確認してください。	FF51

原因 番号	エラー 種別				エラー原因	対処方法	2Way 通信 エラーコード
		1	2	3			
F0	警告	0	無効	2580	配信コマンド発行後、配信先のメモリが少ない状態であるため、デバイス書き込みが無視された。	配信先の受信メモリが不足している可能性があります。配信コマンド発行間隔を空けるか、送信データ数を減らしてください。	2580
		0	無効	25A8	配信コマンド発行後、配信先で配信情報が見つからなかった。	配信先と配信元のネットワークプロジェクトファイルが違います。同じネットワークプロジェクトファイルを転送してください。	25A8
		0	無効	25A9	返信ありの配信コマンド発行後、配信先から返信が来なかった。	通信に障害が発生したか、配信情報が同じでない可能性があります。通信状態をチェックするか、ネットワークプロジェクトファイルを再転送してください。	25A9
		0	無効	上記以外	「36.4 エラーメッセージ」を参照してください。		
		C0	上記以外		Pro-Server EX と接続した GP シリーズ局では C0 で開始するエラーコードになります。詳細については、「36.3 『Pro-Server EX』のエラー」を参照してください。		
		1	表示器以外	各 PLC メーカーのマニュアルを参照してください	配信コマンド発行後、配信先でデバイス書き込みに失敗した。(各 PLC メーカーのマニュアルを参照してください)	PLC との通信でエラーが発生したために書き込みが行えませんでした。PLC メーカーの通信マニュアルを参照し、エラーコード内容の対処方法を調査してください。	FFF0

## プロトコルスタックのエラーコード

プロトコルスタックのエラーコードは表示器の画面上に表示されます。

エラーコード	エラー内容	対処方法
1000	初期化で自局 IP アドレスの設定エラー	自局 IP アドレスの設定ミスです。オフライン画面等で設定し直してください。
1005	初期化に失敗しました。	イーサネットユニットが正常に設置されているか確認してください。
1006	通信中止処理に失敗しました。	内部的な問題です。発生した場合は「デジタルお客様センター」にお問い合わせください。
1007	初期化が正常に終了していない状態で開設しようとしてしました。	内部的な問題です。発生した場合は「デジタルお客様センター」にお問い合わせください。
1008	自局ポート番号エラー	自局ポート番号が設定範囲以上の数値になっています。オフライン画面等で設定し直してください。
1009	相手局ポート番号エラー	相手局ポート番号が設定範囲以上の数値になっています。オフライン画面等で設定し直してください。
100A	相手局 IP アドレスエラー	相手局 IP アドレスの設定ミスです。オフライン画面等で設定し直してください。
100B	UDP にて既に同じポート番号で開設しています。	PLC 通信のポート番号と 2Way 用のポート番号が重複している可能性があります。自局ポートの設定を見直してください。
100C	TCP で既に同じ相手と同じポート番号で開設しています。	TCP ポートで重複同じ相手局と開設を実施しています。相手局ポート番号を重複して設定していないか確認してください。
100D	プロトコルスタックが開設を拒否しています。	内部的な問題です。発生した場合は「デジタルお客様センター」にお問い合わせください。
100E	プロトコルスタックが開設失敗を返してきました。	内部的な問題です。発生した場合は「デジタルお客様センター」にお問い合わせください。
100F	コネクションが切断されました。	相手局より TCP コネクションをクローズされました。通信設定に問題がないか確認してください。
1010	全てのコネクションが使用中で空きコネクションがありません。	表示器との通信コネクションが最大になっています。1 つのアプリケーションを終了し、再接続してください。
1013	相手局からアポートされました。	相手局から TCP コネクションをアポートされました。相手局の状態を確認してください。
101D	Ethernet コントローラがありません。	GP-2401 シリーズ、GP-2501 シリーズ、GP-2601 シリーズで 2Way ドライバを使用する場合は、拡張 Ethernet ユニットが必要です。
1030	プロトコルスタックが返答しません。	内部的な問題です。発生した場合は「デジタルお客様センター」にお問い合わせください。
1032	相手局から返答がありません。	相手局との通信で問題が発生しています。ケーブルを含めた接続状態を確認してください。

**MEMO**

- エラー種別が致命的の場合は、2Way ドライバは復帰不可能です。
  - エラー種別が警告の場合は、エラーが発生しても 2Way ドライバ処理を継続します。エラー原因が解消され、表示器の画面切り替えなどを行うと、エラー表示は消えます。
  - 原因番号が F0 のとき、エラー文字列の右側に「< エラー発生日時 >< 配信先 IP アドレス >」が表示されます。
-

## SYSLOG

Pro-Server がインストールされたフォルダ内の SYSLOG 実行ファイル (GPSYSLOG.EXE) を起動することにより、確認できます。表示器に転送された 2Way ドライバは各種動作において SYSLOG を出力する

ことができます。

SYSLOG 出力内容は、オフライン画面の「SYSLOG 情報の設定」で出力レベルにより選択することができます。出力レベルと出力する SYSLOG プライオリティレベルの対応は以下の通りです。

出力レベル	出力する SYSLOG プライオリティレベル
0	なし
1	INFO,
2	INFO,NOTICE
3	INFO,NOTICE,WARNING
4	INFO,NOTICE,WARNING,DEBUG

### SYSLOG 出力内容

SYSLOG レベル	ECOM 動作内容	SYSLOG 文字列
INFO	ONLINE 開始	gp[17]:start online
INFO	OFFLINE 開始	gp[17]:start offline
WARNING	処理の失敗	gp[17]:bel:fail,< 失敗処理文字列 >< 引数 1>
DEBUG	デバイス読み出し	gp[17]:rdev:< 引数 2>
DEBUG	デバイス書き込み	gp[17]:wdev:< 引数 2>
DEBUG	コマンド受信	gp[17]:bel:< コマンド文字列 1>,recv from <IP address>(<port>)< 引数 3>
DEBUG	コマンド送信	gp[17]:bel:< コマンド文字列 2>,send to <IP address>(<port>)< 引数 3>
DEBUG	s201 ファイルの読み出し	gp[17]:s201:< コマンド文字列 3 >< 引数 4 > send to<IP address>

失敗処理文字列	失敗処理内容
read device	デバイス読み出し失敗
write device	デバイス書き込み失敗
sync provide, response timeout	配信処理後、配信先からの返信が無い
sync provide, fail to read device	配信処理時のデバイス読み出し失敗
lack memory	2way ドライバのメモリ減少によりコマンドを無視
first trigger on	ファーストリガ有効コマンド失敗
second trigger on	セカンドトリガ有効コマンド失敗
backup data read	バックアップデータ読み出し失敗

コマンド文字列 1	内容
response	返答受信
sync provide	配信
read device	デバイス読み出し
write device	デバイス書き込み
get node property	ノード情報の読み出し
first trigger on	ファーストリガ有効
second trigger on	セカンドトリガ有効
backup data read	バックアップデータ読み出し

コマンド文字列 2	内容
sync provide, broadcast	配信（一斉通知、返信なし）
sync provide, send each	配信（個別通知、返信なし）
sync provide, broadcast and wait for response	配信（一斉通知、返信あり）
sync provide, send each and wait for response	配信（個別通知、返信あり）
sync provide, response	配信の返答
read device, response	デバイス読み出しの返答
write device, response	デバイス書き込みの返答
write device, response(retry)	デバイス書き込み（リトライ）の返答
get node property, response	ノード情報読み出しの返答
first trigger on, response	ファーストリガ有効の返答
second trigger on, response	セカンドトリガ有効の返答
backup data read, response	バックアップデータ読み出しの返答

コマンド文字列 3	内容
register as sender	配信コマンドを配信者として登録
register as receiver	配信コマンドを受信者として登録

引数 1（＜文字列＞＝＜値＞）

文字列	値	値の表示形式
err	エラー番号	16 進数
pr	ProjectID	16 進数
ow	OwnerApp	16 進数
ma	MajorNo	16 進数
mi	MinorNo	16 進数

引数 2 (&lt;文字列&gt; = &lt;値&gt;)

文字列	値	値の表示形式
code	デバイスコード	16 進数
addr	デバイスアドレス	16 進数
pack	DataPack	16 進数
kind	DataKind	16 進数
count	WORD 単位のデータ数	16 進数
d0	最初のデータ (1WORD)	16 進数

引数 3 (&lt;文字列&gt; = &lt;値&gt;)

文字列	値	値の表示形式
pr	ProjectID	16 進数
ow	OwnerApp	16 進数
ma	MajorNo	16 進数
mi	MinorNo	16 進数
dl	DataLen	16 進数
va	Validity	16 進数

引数 4 (&lt;文字列&gt; = &lt;値&gt;)

文字列	値	値の表示形式
rn	ResourceNo	16 進数
pack	DataPack	16 進数
kind	DataKind	16 進数
count	ProvidCount	16 進数
howto	HowTo	16 進数
ext	ExtDevType	16 進数
code	デバイスコード	16 進数
addr	デバイスアドレス	16 進数
retry	RetryCount	16 進数
wait	RetryWaitTime	16 進数

## 36.3 『Pro-Server EX』のエラー

### 36.3.1 「REAA \* \* \*」のエラー情報

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0A10001 REAA001 -1063190527 3231776769	「アクション / データ転送 (xx)」の「転送元」で設定されているデバイスの読出しに失敗しました。(xx) (xx: アクション名 / データ転送名)	「転送元」で設定されているデバイスの読み出しに失敗しました。『Pro-Studio EX』の「アクションが受け取るデータの設定」画面で設定しているデバイスを確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0A10002 REAA002 -1063190526 3231776770	「アクション / データ転送 (xx)」の「転送先」で設定されているデバイスの書き込みに失敗しました。(xx) (xx: アクション名 / データ転送名)	「転送先」で設定されているデバイスの書き込みに失敗しました。『Pro-Studio EX』の「アクションが受け取るデータの設定」画面で設定しているデバイスを確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0A10003 REAA003 -1063190525 3231776771	異常が発生した局の IP アドレスを格納できませんでした (起動条件 :xx) (xx: 起動条件名)	異常が発生した局の IP アドレスを格納できませんでした。『Pro-Studio EX』の「起動条件詳細設定」画面で設定している「異常先 IP アドレス格納先」を確認してください。	「起動条件詳細設定」画面
0xC0A10004 REAA004 -1063190524 3231776772	エラーコードを格納できませんでした (起動条件 :xx) (xx: 起動条件名)	エラーコードを格納できませんでした。『Pro-Studio EX』の「起動条件詳細設定」画面で設定している「エラーコード格納先」を確認してください。	「起動条件詳細設定」画面
0xC0A10005 REAA005 -1063190523 3231776773	「処理結果の成否を示すビット」の書き込みに失敗しました (起動条件 :xx) (xx: 起動条件名)	「処理結果の成否を示すビット」の書き込みに失敗しました。『Pro-Studio EX』の「起動条件詳細設定」画面で設定している「処理結果の成否を示すビット」を確認してください。	「起動条件詳細設定」画面
0xC0A10006 REAA006 -1063190522 3231776774	「処理が完了した事を示すビット」の書き込みに失敗しました (起動条件 :xx) (xx: 起動条件名)	「処理が完了した事を示すビット」の書き込みに失敗しました。『Pro-Studio EX』の「起動条件詳細設定」画面で設定している「処理が完了した事を示すビット」を確認してください。	「起動条件詳細設定」画面
0xC0A10007 REAA007 -1063190521 3231776775	「起動条件デバイス」をクリアできませんでした (起動条件 :xx) (xx: 起動条件名)	「起動条件デバイス」をクリアできませんでした。『Pro-Studio EX』の起動条件設定画面で設定しているデバイスを確認してください。	「33.1.1 起動条件の種類は？」

- \* - 1 行目: エラーコード  
 2 行目: 統一エラーコード  
 3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
 4 行目: 10 進符号なしエラーコード



エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0A10008 REAA008 -1063190520 3231776776	「起動条件デバイス」の読出しに失敗しました(起動条件:xx) (xx: 起動条件名)	「起動条件デバイス」の読出しに失敗しました。『Pro-Studio EX』の起動条件設定画面で設定しているデバイスを確認してください。	「33.1.1 起動条件の種類は？」
0xC0A10009 REAA009 -1063190519 3231776777	「受信通知デバイス」の書込みに失敗しました(アクション/データ転送:xx) (xx: アクション/データ転送名)	「受信通知デバイス」への書込みに失敗しました。Pro-Studio EXの「アクション動作局/処理完了通知設定」画面で設定している「受信通知デバイス」を確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0A1000A REAA010 -1063190518 3231776778	NPX 差分転送モードにおいて「アクション/データ転送(%s)」を実行できませんでした	対象となる「アクション/データ転送」に関連する参加局すべてにネットワークプロジェクトを転送してください。	「34.3 オプション設定」
0xC0A1000B REAA011 -1063190517 3231776779	接続時チェックモードの設定が一致していないため「アクション/データ転送」を実行できませんでした		「34.3 オプション設定」
0xC0A1000C REAA012 -1063190516 3231776780	データ転送の相手局とデータ転送に関する情報が自局のものと一致しません		「34.3 オプション設定」
0xC0A1000D REAA013 -1063190515 3231776781	データ転送の相手局とデータ転送に関する情報が自局のものと一致しません(不一致の場所 %d-%d)		「34.3 オプション設定」
0xC0A1000E REAA014 -1063190514 3231776782	データ転送の相手局と Runtime のバージョンに互換性がありません	対象となる「アクション/データ転送」に関連する参加局すべてのラインタイムを最新バージョンに更新してください。	「34.3 オプション設定」
0xC0A10010 REAA016 -1063190512 3231776784	xx ポート(番号:xx)を使用することができませんでした (xx: ポート名/番号)	システムポート番号がすでに使用されている可能性があります。	-
0xC0A10011 REAA017 -1063190511 3231776785	書き込み禁止エリアにアクセスしました(xx) (xx: デバイス名)	D スクリプトまたはネットワーク越しで書き込み禁止エリア(LS0000 ~ LS0019、LS2032 ~ LS2095、LS9000 ~ LS9999)に書き込みすることはできません。	-
0xC0A10012 REAA018 -1063190510 3231776786	アドレス範囲外のデバイスにアクセスしました(xx) (xx: デバイス名)	範囲外のデバイスにアクセスしました。	-

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0A10015 REAA021 -1063190507 3231776789	不正な ID( 局、機器、デバイス ) が指定されました	不正な ID が指定されました。 存在しないデバイスにアクセスしています。	-
0xC0A10016 REAA022 -1063190506 3231776790	不正な ID( 局、機器、デバイス ) が指定されました	不正な ID が指定されました。 存在しないデバイスにアクセスしています。	-
0xC0A1001A REAA026 -1063190502 3231776794	不正または未設定のデバイスアドレスがあります	不正なデバイスが指定されました。存在しないデバイスにアクセスしています。	-
0xC0A1001B REAA027 -1063190501 3231776795	不正または未設定のデバイスアドレスがあります		
0xC0A1001C REAA028 -1063190500 3231776796	不正または未設定のデバイスアドレスがあります		
0xC0A1002A REAA042 -1063190486 3231776810	「アクション / データ転送 (%s)」が指定時間内に完了しませんでした。	参加局との通信または接続機器との通信でエラーが発生している可能性があります。Pro-Studio の「アクション / データ転送」で設定しているデバイスを確認してください。	-
0xC0A1002B REAA043 -1063190485 3231776811	前回の処理が完了していないため「アクション / データ転送 (%s)」を実行できませんでした。	しばらく時間を置いてから、再度「アクション / データ転送」を実行してください。	-
0xC0A1001D REAA029 -1063190499 3231776797	利用できない機器の機器 ID が指定されました (%s)	間接機器と同じシリーズの機器の機器 ID を指定してください。	『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』
0xC0A10030 REAA048 -1063190480 3231776816	警告：ネットワークプロジェクトファイルのデータ形式が古い ため、一部の Pro-Server 機能は 利用できません。	最新の Pro-Studio EX を使用して、ネットワークプロジェクトファイルを再度転送してください。	-
0xC0A10031 REAA049 -1063190479 3231776817	警告：ネットワークプロジェクトファイルのデータ形式が新しい ため、一部の Pro-Server 機能 は利用できません。	最新の GP-Pro EX を使用して強制転送してください。その後、Pro-Studio EX でネットワークプロジェクトファイルを再度転送してください。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0A10032 REAA050 -1063190478 3231776818	ネットワークプロジェクトファイルのデータ形式が古いため、Pro-Server 機能は利用できません。	最新の Pro-Studio EX を使用して、ネットワークプロジェクトファイルを再度転送してください。	-
0xC0A10033 REAA051 -1063190477 3231776819	ネットワークプロジェクトファイルのデータ形式が新しいため、Pro-Server 機能は利用できません。	最新の GP-Pro EX を使用して強制転送してください。その後、Pro-Studio EX でネットワークプロジェクトを再度転送してください。	-
0xC0A10034 REAA052 -1063190476 3231776820	ネットワークプロジェクトファイルは未サポートのデータ形式が壊れています。Pro-Server 機能は利用できません。	Pro-Studio EX でネットワークプロジェクトファイルを再度転送してください。	-
0xC0A10040 REAA064 -1063190464 3231776832	相手局との通信中にエラーが発生しました。相手局と正しくネットワーク接続されている事を確認してください。	GP-PRO EX にて、システムを強制転送してください。	-
0xC0A10041 REAA065 -1063190463 3231776833	相手局から指定時間内に応答がありませんでした。相手局と正しくネットワーク接続されている事を確認してください。	自局と相手局間のネットワークケーブルなどが正しく接続されていることを確認してください。	-
0xC0A10042 REAA066 -1063190462 3231776834	相手局から指定時間内に応答がありませんでした。相手局と正しくネットワーク接続されている事を確認してください。	自局と相手局間のネットワークケーブルなどが正しく接続されていることを確認してください。	-
0xC0A10043 REAA067 -1063190461 3231776835	自局または相手局が終了したため、相手局との通信が停止しました。	自局と相手局間のネットワークケーブルなどが正しく接続されていることを確認してください。	-
0xC0A10044 REAA068 -1063190460 3231776836	サーバーでの認証に失敗したため、サーバーに接続できませんでした。	ビューア側で正しい認証情報を入力してください。	-
0xC0A10045 REAA069 -1063190459 3231776837	操作を実行するためのビューアの権限が不足しています。	ビューア側のセキュリティレベルを上げてください。	-
0xC0A10046 REAA070 -1063190458 3231776838	サーバの設定の [GP-Viewer からの書き込み] が無効に設定されているため、処理を実行できません。	サーバーの設定で [GP-Viewer の書き込み] が無効になっている状態で、ビューアからスイッチを押したなど接続機器デバイスへ書き込みを行おうとしました。書き込みが必要な場合は設定を変更してください。このエラーは同期モードで GP-Viewer EX から画面切替をしても発生します。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0A1004A REAA074 -1063190454 3231776842	SRAM への書き込みに失敗しました。	SRAM の更新に失敗しました。 再度更新をおこなってください。	-
0xC0A1004B REAA0075 -1063190453 3231776843	SRAM からの読み出しに失敗しました。	SRAM の更新に失敗しました。 再度更新をおこなってください。	-
0xC0A10050 REAA080 -1063190448 3231776848	Web サーバがロードできません。	GP-PRO EX にて、システムを 強制転送してください。	-
0xC0A10051 REAA081 -1063190447 3231776849	Web サーバが転送されていません。	GP-PRO EX にて、システムを 強制転送してください。	-
0xC0A10052 REAA082 -1063190446 3231776850	Web サーバが起動できません。	GP-PRO EX にて、システムを 強制転送してください。	-
0xC0A10060 REAA096 -1063190432 3231776864	Ether マルチリンク設定のマスター IP アドレスに、不正または自局の IP アドレスが設定されています (%s)。	メッセージ中のマスター局 IP アドレスを変更して、画面プロ ジェクトを再転送してください。 もしくは、自局の IP アドレス を変更してください。	『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』
0xC0A10070 REAA112 -1063190416 3231776880	接続先サーバーから読み出すアドレス数が多すぎるため、読み出しに失敗しました。同時に接続する GP-ViewerEX が多すぎる可能性があります。	画面プロジェクトを編集し、使用するデバイス点数を減らして再転送してください。 または、1 台のサーバに対して同時に接続する GP-Viewer EX の台数を減らしてください。	『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』
0xC0A10071 REAA113 -1063190415 3231776881	デバイスキャッシュに登録するデバイス点数が多すぎるため、キャッシュリードはダイレクトリードになります。 (%s)	常時タイプのデバイスキャッシュに登録しているデバイス点数を減らしてください。	『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

## 36.3.2 「RYAA \* \* \*」のエラー情報

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0AF0001 RYAA001 -1062273023 3232694273	指定された共有メモリは既にあります。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0002 RYAA002 -1062273022 3232694274	指定された共有メモリはありません。		
0xC0AF0003 RYAA003 -1062273021 3232694275	共有メモリは既にありますが、その共有メモリは指定されたサイズ分はありません。	他のアプリケーションを終了するかパソコンを再起動してください。	-
0xC0AF0004 RYAA004 -1062273020 3232694276	メモリやリソース不足で共有メモリが作成できません。		
0xC0AF0005 RYAA005 -1062273019 3232694277	既に実行中または終了処理中のため、TdasEngine を開始できませんでした。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0006 RYAA006 -1062273018 3232694278	既に停止中または終了処理中のため、TdasEngine を停止できませんでした。		
0xC0AF0007 RYAA007 -1062273017 3232694279	TdasEngine に処理の登録ができませんでした。		
0xC0AF0008 RYAA008 -1062273016 3232694280	TdaInfo は小サービスの状態遷移中であるため、状態遷移できません。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0009 RYAA009 -1062273015 3232694281	存在しない接続機器名 (xx) が指定されました。 (xx: 接続機器名)		
		『Pro-Server EX』の参加局で設定されている機器名と表示器で設定されている接続機器名が一致していません。接続機器名を一致させてください。一致している場合は、参加局へネットワークプロジェクトが転送されていない可能性があります。参加局へネットワークプロジェクトを転送してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0AF000A RYAA010 -1062273014 3232694282	小サービスの状態が不正なため、処理を実行できません。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF000B RYAA011 -1062273013 3232694283	小サービスが稼動中でないため、処理を実行できません。		
0xC0AF000C RYAA012 -1062273012 3232694284	小サービスがエラー停止中のため、処理を実行できません。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF000D RYAA013 -1062273011 3232694285	サポートされていない小サービスの I/F がコールされました。		
0xC0AF0010 RYAA016 -1062273008 3232694288	メモリ不足のため、アイテム登録できませんでした。	他のアプリケーションを終了するかパソコンを再起動してください。	-
0xC0AF0011 RYAA017 -1062273007 3232694289	アイテムが登録されていないデバイスにアクセスしました。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0012 RYAA018 -1062273006 3232694290	範囲外のアイテムにアクセスしました。	範囲外のデバイスにアクセスしました。	-
0xC0AF0013 RYAA019 -1062273005 3232694291	指定されたクラスタ内に不正なアイテムが指定されているため、クラスタ登録に失敗しました。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0014 RYAA020 -1062273004 3232694292	指定されたデータ型は有効なデータ型ではありません。		

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0AF0015 RYAA021 -1062273003 3232694293	不正なアクセスタイプが指定されました。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0016 RYAA022 -1062273002 3232694294	不正なデータ種別が指定されました。		
0xC0AF0017 RYAA023 -1062273001 3232694295	演算書込みで指定されたデータ点数が多すぎます (xx 以下にしてください)。 (xx: データ点数)		
0xC0AF0018 RYAA024 -1062273000 3232694296	演算書込みで下限値を下回りました。	範囲外の値を書込みしようとしてしました。範囲内の値を書き込むように設定を変更してください。	「第 27 章 独自のプログラムを設計したい!」
0xC0AF0019 RYAA025 -1062272999 3232694297	演算書込みで上限値を越えました。		
0xC0AF001A RYAA026 -1062272998 3232694298	メモリ不足のため、ネットワーク先に処理要求できませんでした。	他のアプリケーションを終了するかパソコンを再起動してください。	-
0xC0AF001B RYAA027 -1062272997 3232694299	指定のグループが見つかりませんでした。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF001C RYAA028 -1062272996 3232694300	比較した 2 つのアクセスチケットの局、機器、デバイスのいずれかが異なっています。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF001D RYAA029 -1062272995 3232694301	指定されたアクセスチケットが自局ではありません。		
0xC0AF001E RYAA030 -1062272994 3232694302	メモリ不足のため、キャッシュ登録できませんでした。	他のアプリケーションを終了するかパソコンを再起動してください。	-

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0AF0020 RYAA032 -1062272992 3232694304	ブロック型ではないアクセスチケットでブロックアクセスされました。	致命的エラーが発生しました。再度転送を実行してください。または『GP-Pro EX』で強制転送後に、再度転送を実行してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0021 RYAA033 -1062272991 3232694305	処理対象となる小サービスが見つかりませんでした。		
0xC0AF0022 RYAA034 -1062272990 3232694306	デバイスへの一括アクセスサイズの上限を超えました。	デバイスへの一括読み込み / 書き込みのバッファサイズは最大 10K バイトです。それ以下になるように設定してください。	-
0xC0AF0025 RYAA037 -1062272987 3232694309	一度にネットワーク越しへ読み込み / 書き込みできる要求数が最大値 (xx) を越えました。 (xx: データ個数)	『Pro-Server EX』および『GP-Pro EX』でネットワーク先へ要求している設定を見直し、ネットワーク先への要求が一度に最大値を越えないようにシステムを再設計してください。	-
0xC0AF0030 RYAA048 -1062272976 3232694320	相手局との通信中にエラーが発生しました。相手局と正しくネットワーク接続されていることを確認してください。	自局と相手局間のネットワークケーブルなどが正しく接続されていることを確認してください。	「2.2 パソコンと表示器を接続しよう」
0xC0AF0031 RYAA049 -1062272975 3232694321	相手局から指定時間内に応答がありませんでした。相手局と正しくネットワーク接続されていることを確認してください。	-	-
0xC0AF0032 RYAA050 -1062272974 3232694322	相手局から指定時間内に応答がありませんでした。相手局と正しくネットワーク接続されていることを確認してください。	-	-
0xC0AF0033 RYAA051 -1062272973 3232694323	自局または相手局が終了したため、相手局との通信が停止しました。	参加局をオンラインにしてください。または Pro-Server EX を起動してください。	-
0xC0AF0040 RYAA064 -1062272960 3232694336	デバイス読出しに失敗しました。	不正または未設定のデバイスアドレスに読み込みを行った可能性があります。正しいデバイスアドレスを指定してください。	-
0xC0AF0041 RYAA065 -1062272959 3232694337	デバイス書き込みに失敗しました。	不正または未設定のデバイスアドレスに書き込みを行った可能性があります。正しいデバイスアドレスを指定してください。	

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード



エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0AF0045 RYAA069 -1062272955 3232694341	指定された要求は未サポートです。	『GP-Pro EX』でシステムの転送を行うことにより、サポートしているバージョンにバージョンアップしてください。 または、『Pro-Studio EX』の参加局設定で、参加局の種類が実際の機種と異なっている可能性があります。参加局の種類が正しく設定されていることを確認してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0AF0046 RYAA070 -1062272954 3232694342	指定された要求は未サポートです。	『GP-Pro EX』でシステムの転送を行うことにより、サポートしているバージョンにバージョンアップしてください。	『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』
0xC0AF0050 RYAA080 -1062272944 3232694352	ネットワーク プロジェクト ファイルのプロジェクト ID が異なります (異なる NPJ が使用されています)。	『Pro-Studio EX』でネットワークプロジェクトファイルを再度転送してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0051 RYAA081 -1062272943 3232694353	ネットワーク プロジェクト ファイルに必要なデータが存在しませんでした。		
0xC0AF0052 RYAA082 -1062272942 3232694354	ネットワーク プロジェクト ファイルが壊れています。	『Pro-Studio EX』でネットワークプロジェクトファイルを再度転送してください。それでも復旧しない場合は、『GP-Pro EX』で強制転送後に、『Pro-Studio EX』でネットワークプロジェクトファイルを再度転送してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0053 RYAA083 -1062272941 3232694355	ネットワーク プロジェクト ファイルが存在しませんでした。		
0xC0AF0060 RYAA096 -1062272928 3232694368	GP へのデータ転送に失敗しました。	表示器に接続されている接続機器が正しく動作していることを確認してください。または、『Pro-Studio EX』でネットワークプロジェクトファイルを再度転送してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0AF0061 RYAA097 -1062272927 3232694369	GP からのデバイス読出しに失敗しました。	読み込み禁止エリアにアクセスしました。読み込み禁止エリアにアクセスしないように設定を変更してください。	-
0xC0AF0062 RYAA098 -1062272926 3232694370	GP へのデバイス書込みに失敗しました。	書き込み禁止エリアにアクセスしました。書き込み禁止エリアにアクセスしないように設定を変更してください。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0AF0063 RYAA099 -1062272925 3232694371	GP へのデバイスアクセス時、デバイス番号が範囲外となりました。	不正なデバイスが指定されました。存在しないデバイスにアクセスしています。	-
0xC0AF0064 RYAA100 -1062272924 3232694372	GP へのデータ転送に失敗しました。(相手局から応答がありません。)	<p>相手局から応答がありません。次のことを確認・実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークのケーブルが正しく接続されていること。</li> <li>• 相手局の電源が入っていること。</li> <li>• 『Pro-Studio EX』の参加局設定で IP アドレスが正しいこと。</li> <li>• 『Pro-Studio EX』によるネットワークプロジェクトファイルの再転送</li> </ul> <p>GP シリーズ局と通信している場合は、ネットワーク的に混雑した環境や GP シリーズ局と接続機器間の通信が遅い場合でも、エラーが発生することがあります。これらの原因が考えられる場合は、「GP シリーズ局用設定」画面の「デバイスリードライトタイムアウト」で設定されている時間を長くしてください。</p>	「2.2 パソコンと表示器を接続しよう」 「31.5 設定ガイド」 「34.2 ネットワーク設定」
0xC0AF0065 RYAA101 -1062272923 3232694373	GP からのデバイス読出しに失敗しました。(相手局から応答がありません。)	<p>相手局から応答がありません。次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークのケーブルが正しく接続されていること。</li> <li>• 相手局の電源が入っていること。</li> <li>• 『Pro-Studio EX』の参加局設定で IP アドレスが正しいこと。</li> </ul> <p>GP シリーズ局と通信している場合は、ネットワーク的に混雑した環境や GP シリーズ局と接続機器間の通信が遅い場合でも、エラーが発生することがあります。これらの原因が考えられる場合は、「GP シリーズ局用設定」画面の「デバイスリードライトタイムアウト」で設定されている時間を長くしてください。</p>	「2.2 パソコンと表示器を接続しよう」 「31.5 設定ガイド」 「34.2 ネットワーク設定」
0xC0AF0066 RYAA102 -1062272922 3232694374	GP へのデバイス書込みに失敗しました。(相手局から応答がありません。)	<p>相手局から応答がありません。次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークのケーブルが正しく接続されていること。</li> <li>• 相手局の電源が入っていること。</li> <li>• 『Pro-Studio EX』の参加局設定で IP アドレスが正しいこと。</li> </ul> <p>GP シリーズ局と通信している場合は、ネットワーク的に混雑した環境や GP シリーズ局と接続機器間の通信が遅い場合でも、エラーが発生することがあります。これらの原因が考えられる場合は、「GP シリーズ局用設定」画面の「デバイスリードライトタイムアウト」で設定されている時間を長くしてください。</p>	「2.2 パソコンと表示器を接続しよう」 「31.5 設定ガイド」 「34.2 ネットワーク設定」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

## 36.3.3 「SAAA \* \* \*」のエラー情報

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00001 SAAA001 -1062207487 3232759809	システムエラー		-
0xC0B00002 SAAA002 -1062207486 3232759810	OS のリソースかメモリが不足しているため処理できません。	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00003 SAAA003 -1062207485 3232759811	Pro-Server EX からの処理結果が返信されるまで、新たな処理はできません。		
0xC0B00005 SAAA005 -1062207483 3232759813	Pro-Server EX が処理の途中で終了したため、処理を中断しました	アプリケーションを終了させてから、『Pro-Server EX』を終了するようにしてください。	-
0xC0B00006 SAAA006 -1062207482 3232759814	Pro-Server EX が先に終了しているため、処理できません。		
0xC0B00007 SAAA007 -1062207481 3232759815	指定されたコネクタは既に登録されています。アプリケーションは既に実行中です。	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00008 SAAA008 -1062207480 3232759816	OLE の関数でエラーが発生しました。データの変換ができません。		
0xC0B0000A SAAA010 -1062207478 3232759818	Pro-Server EX がまだ起動されていないため、リソースを参照できません。		
0xC0B0000B SAAA011 -1062207477 3232759819	Pro-Server EX がまだ起動されていないため、システムに対して処理の依頼を要求できません。		
0xC0B0000C SAAA012 -1062207476 3232759820	システムが壊れています。処理できません。		

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00010 SAAA016 -1062207472 3232759824	アクションは停止中です。処理できません。	タスクトレイから[アクション]-[アクションを無効にする]にチェックが付いていないかを確認してください。付いている場合はチェックを外してください。 アクションを動かすタイミングを検討してください。	-
0xC0B00011 SAAA017 -1062207471 3232759825	xx ファイルをアクセス中にエラーが発生しました。ファイルがロック(共有)されているか、壊れています。 (xx: ファイル名)	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00012 SAAA018 -1062207470 3232759826	コネクター数が多すぎ登録できません。	Pro-Server EX ハンドルの生成と破棄が正しくおこなわれているかを確認してください。	「27.5 システム系 API」
0xC0B00020 SAAA032 -1062207456 3232759840	PRW ファイルを開けません。	指定されたファイル名が正しいかを確認してください。正しい場合はファイルが破損している可能性があります。	-
0xC0B00021 SAAA033 -1062207455 3232759841	PRW ファイルのインポートには自動転送機能に対応している GP-Pro PB が必要です。このパソコンには自動転送機能に対応した GP-Pro PB がインストールされていないのでインポートできません。	自動転送に対応したバージョンの『GP-PRO/PB for Windows』をインストールしてください。	-
0xC0B00022 SAAA034 -1062207454 3232759842	GP-Pro PB 起動中は PRW ファイルをインポートできません。GP-Pro PB を一旦終了させてください。	現在起動している『GP-PRO/PB for Windows』を終了してください。	-
0xC0B00023 SAAA035 -1062207453 3232759843	GP-Pro PB を起動することができなかったため、PRW ファイルをインポートできません。	『GP-PRO/PB for Windows』がインストールされているか確認してください。インストールされている場合は、『GP-PRO/PB for Windows』が破損している可能性があるため、再インストールしてください。	-
0xC0B00024 SAAA036 -1062207452 3232759844	転送準備が正しくできていません。ファイルが破損している可能性があります。	指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	「31.5 設定ガイド」

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00026 SAAA038 -1062207450 3232759846	指定されたファイルにアクセスできません。	画面プロジェクトファイルが使用中でないかを確認してください。使用中である場合はファイルを閉じてください。	-
0xC0B00027 SAAA039 -1062207449 3232759846	PRW ファイル名が入力されていません。	画面プロジェクトファイルのファイル名を入力してください。	-
0xC0B00028 SAAA040 -1062207448 3232759848	指定されたファイルは PRW ファイルではありません。	拡張子が ".prw" のファイルを指定してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00029 SAAA041 -1062207447 3232759849	PRX ファイルから接続機器情報の取得に失敗しました。	指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	
0xC0B0002A SAAA042 -1062207446 3232759850	PRX ファイルからシンボル情報の取得に失敗しました。	指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	
0xC0B0002B SAAA043 -1062207445 3232759851	PRX ファイルからデバイスアドレスの取得に失敗しました。		
0xC0B0002C SAAA044 -1062207444 3232759852	PRX ファイルから設定情報の取得に失敗しました。		
0xC0B0002D SAAA045 -1062207443 3232759853	一時ファイルの作成に失敗しました。	テンポラリファイル作成フォルダの空き容量が少ない可能性があります。ドライブの空き容量を確認し、少ない場合は空き容量を増やしてください。	-
0xC0B0002E SAAA046 -1062207442 3232759854	PRX ファイルを開けません。	指定されたファイル名が正しいかどうか確認してください。正しい場合はファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B0002F SAAA047 -1062207441 3232759855	一時ファイルの削除に失敗しました。	再度実行してください。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00030 SAAA048 -1062207440 3232759856	指定された PRX ファイルにエラーがあります。	指定した画面プロジェクトファイルが破損している可能性があります。破損していない画面プロジェクトファイルを指定してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00031 SAAA049 -1062207439 3232759857	PRX ファイル内に必要なデータがありません。		
0xC0B00032 SAAA050 -1062207438 3232759858	指定されたファイルは PRX ファイルではありません。	拡張子が ".prx" のファイルを指定してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00033 SAAA051 -1062207437 3232759859	表示器から取得したファイルにアクセスできません。	取得したファイルが破損している可能性があります。再度処理を実行してください。	-
0xC0B00034 SAAA052 -1062207436 3232759860	ネットワークプロジェクトの設定内容に異常があります。	『Pro-Studio EX』で整合性チェックを実行してください。検出された異常内容を修正した後に、再度ネットワークプロジェクトを転送してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0B00035 SAAA053 -1062207435 3232759861	指定されたファイルが壊れています。	プロジェクトファイルが壊れています。『GP-Pro EX』で再度保存したファイルを使用してください。	『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』
0xC0B00036 SAAA054 -1062207434 3232759862	このバージョンのファイルは処理できません。	新しい形式でプロジェクトファイルが保存されています。最新の『Pro-Studio EX』を使用してください。	-
0xC0B00037 SAAA055 -1062207433 3232759863	処理できない形式でファイルが保存されています。	未対応の形式でファイルが保存されています。最新の『Pro-Studio EX』を使用してください。	-
0xC0B00038 SAAA056 -1062207432 3232759864	PRX ファイルで使用しているプロトコルドライバと Pro-Server EX にインストールされているプロトコルドライバのバージョンが異なります。	接続機器や参加局が変更になっていないかご確認ください。対応する接続機器のドライバーをインストールするか、アップデートしてください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00060 SAAA096 -1062207392 3232759904	ネットワークプロジェクトファイルがオープンできません。ファイルがないかアクセス権がありません。	ネットワークプロジェクトファイルの指定方法、または指定したファイルを確認してください。	「24.1 Factory Gateway と接続してみよう！」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00061 SAAA097 -1062207391 3232759905	ネットワークプロジェクトファイルがオープンできません。	ネットワークプロジェクトファイルの指定方法、または指定したファイルを確認してください。 正しいネットワークプロジェクトを指定していて、再起動しても現象が発生するようであれば、『Pro-Server EX』の再インストールを行ってください。	「24.1 Factory Gateway と接続してみよう！」
0xC0B00062 SAAA098 -1062207390 3232759906	ネットワークプロジェクトファイルが壊れていて、読み込みができません。指定したファイルが正しいネットワークプロジェクトファイルであるかを確認してください。	指定したファイルが壊れていないかを確認してください。	-
0xC0B00063 SAAA099 -1062207389 3232759907	ネットワークプロジェクトファイルに書き込めません。	ディスクの空きエリアが十分かどうか、ファイル/フォルダへのアクセス権があるかなどを確認してください。	-
0xC0B00064 SAAA100 -1062207388 3232759908	ネットワークプロジェクトファイルでないか古いバージョンのネットワークプロジェクトファイルです。データを読み込めません。	ネットワークプロジェクトファイルを指定してください。ネットワークプロジェクトを指定している場合は、ファイルが破損している可能性があります。破損していないネットワークプロジェクトファイルを指定してください。	「24.1 Factory Gateway と接続してみよう！」
0xC0B00065 SAAA101 -1062207387 3232759909	(xx) において、指定された接続機器はありません。削除されたか名前を変更された可能性があります。設定内容を見直してください。 (xx: 参加局名)	メッセージの指示に従い、接続機器を確認してください。	-
0xC0B00066 SAAA102 -1062207386 3232759910	指定された参加局 (xx) は登録されていません。矛盾があります。設定内容を見直してください。 (xx: 参加局名)	参加局を削除した場合、その参加局を利用していたものを全てを見直してください。 データ転送機能 キャッシュ機能 アクション機能 起動条件など	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00067 SAAA103 -1062207385 3232759911	指定された参加局情報が不正です。参加局の情報がありません。	参加局削除後、同名の参加局を追加しても、設定は無効のままです（元には戻りません）。再度設定を見直してください。	

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00068 SAAA104 -1062207384 3232759912	参加局 (xx) のシステム先頭デバイスの設定にエラーがあります。デバイスの指定を確認してください。	メモリリンク以外の接続機器を持つと、システムエリア機器とシステムエリアデバイスを指定する必要があります。指定を確認してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00069 SAAA105 -1062207383 3232759913	(xx:xx) はデバイスもしくはシンボルとして不正です。解析できません。 (xx: デバイス / シンボル名)	メッセージの指示に従い、シンボルを確認してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B0006A SAAA106 -1062207382 3232759914	(xx) の起動条件が不正です。この起動条件に関する参加局が削除された可能性があります。設定内容を見直してください。 (xx: 起動条件名)	メッセージの指示に従い、起動条件を確認してください。	「33.1.1 起動条件の種類は？」
0xC0B0006B SAAA107 -1062207381 3232759915	アクションデータが削除されたため、通信機能との間に矛盾があります。設定内容を見直してください。	メッセージの指示に従い、アクション設定を確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B0006C SAAA108 -1062207380 3232759916	ネットワーク設定が壊れています。	ネットワーク設定を見直してください。	「34.2 ネットワーク設定」
0xC0B0006D SAAA109 -1062207379 3232759917	接続機器が削除されたため、シンボル情報との間に矛盾があります。設定内容を見直してください。	接続機器を削除するとそれに関連した情報は全て無効になります。その接続機器に関連する情報を全て見直してください。削除後、同名の接続機器を追加しても、設定は無効のままです（元には戻りません）。再度設定を見直してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B0006E SAAA110 -1062207378 3232759918	参加局が削除されたため、シンボル情報との間に矛盾があります。設定内容を見直してください。	メッセージの指示に従い、シンボルを確認してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B0006F SAAA111 -1062207377 3232759919	起動条件が多すぎます。xx 以下にしてください。 (xx: 件数)	メッセージの指示に従い、起動条件の件数を減らしてください。	「33.2 起動条件の内容を編集するには」
0xC0B00070 SAAA112 -1062207376 3232759920	(シンボルシート: xx グループ: xx) はグループのデバイスのデータサイズの合計が多すぎます。グループを分割してください。(xxByte 以下)	メッセージの指示に従い、グループシンボルのデータ数（配列の要素数かメンバー数、またはメンバーのデータ数）を減らしてください。	「29.3 シンボルのグループ化」
0xC0B00071 SAAA113 -1062207375 3232759921	アクションが多すぎて登録できません。	アクションの登録数を減らしてください。	該当するアクションの各章

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード



エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00072 SAAA114 -1062207374 3232759922	(xx) 局は対し未サポートの起動条件が設定されています (GP シリーズの参加局は起動条件に制約があります。詳しくはマニュアルを参照してください)。 (xx: 参加局名)	メッセージの指示に従い、起動条件を確認してください。 メッセージの指示に従い、起動条件を確認してください。	「33.1.1 起動条件の種類は？」
0xC0B00073 SAAA115 -1062207373 3232759923	起動条件 (xx) は GP シリーズ局用ですが、GP シリーズ局用の起動条件は条件の論理演算はサポートしていません。 (xx: 起動条件名)		
0xC0B00074 SAAA116 -1062207372 3232759924	(xx) のシンボルシートのシートかグループの構造が壊れています。作り直してください。	メッセージの指示に従い、グループシンボルを作り直してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B00075 SAAA117 -1062207371 3232759925	(xx) において起動条件がありません。起動条件が削除された可能性があります。設定内容を見直してください。	メッセージの指示に従い、起動条件を利用しているもの (データ転送機能やアクション機能など) を確認してください。	「32.1 シンボルとシンボルシートについて」
0xC0B00076 SAAA118 -1062207370 3232759926	(xx) の起動条件に指定されている参加局がありません。参加局が削除された可能性があります。設定内容を見直してください。	メッセージの指示に従い、起動条件を確認してください。	「32.1 シンボルとシンボルシートについて」
0xC0B00077 SAAA119 -1062207369 3232759927	データ転送 (xx) において転送元の定数値の指定に誤りがあります。 (xx: データ転送名)	データ型に応じた定数値が確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B00078 SAAA120 -1062207368 3232759928	(シンボルシート: xx シンボル: xx アドレス: xx) はデバイスアドレスとして不正です。		
0xC0B00079 SAAA121 -1062207367 3232759929	(シンボルシート: xx シンボル: xx アドレス: xx) は前行のシンボルがビットタイプ以外なのでビットタイプの連続の指定はできません。設定内容を見直してください。	メッセージの指示に従い、シンボルシートの設定を確認してください。	「32.6 設定ガイド」

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B0007A SAAA122 -1062207366 3232759930	(シンボルシート: xx シンボル: xx アドレス: xx) は前行がビットタイプのシンボルなのでビットタイプ以外の連続の指定はできません。設定内容を見直してください。	メッセージの指示に従い、シンボルシートの設定を確認してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B0007B SAAA123 -1062207365 3232759931	(シンボルシート: xx シンボル: xx アドレス: xx) は前行から連続の指定ができません。デバイス範囲が越えていないか見直してください。		
0xC0B0007C SAAA124 -1062207364 3232759932	(シンボルシート: xx シンボル: xx アドレス: xx) は有効なデバイス範囲を越えています。		
0xC0B0007D SAAA125 -1062207363 3232759933	(シンボルシート: xx シンボル: xx) は前に有効なシンボルがないのでどのデバイスのビット指定かが分かりません。		
0xC0B0007E SAAA126 -1062207362 3232759934	(シンボルシート: xx グループ: xx) は有効なシンボルが 1 行もありません。グループには最低でも 1 つのシンボルを設定してください。	メッセージの指示に従い、シンボルシートの設定を確認してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B0007F SAAA127 -1062207361 3232759935	(シンボルシート: xx グループ: xx) は連続していないシンボルを持っているので配列にできません。		
0xC0B00080 SAAA128 -1062207360 3232759936	(シンボルシート: xx 配列グループ: xx) はデバイス数が多すぎてサポートできません。	メッセージの指示に従い、シンボルシートの設定を確認してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B00081 SAAA129 -1062207359 3232759937	(シンボルシート: xx 配列グループ: xx) は有効なデバイス範囲を越えています。		

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00082 SAAA130 -1062207358 3232759938	指定された (xx) 局はネットワークプロジェクトに登録されていません。 (xx: 参加局名)	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00083 SAAA131 -1062207357 3232759939	指定された (xx) 局は GP シリーズ局ではありません。 (xx: 参加局名)		
0xC0B00084 SAAA132 -1062207356 3232759940	指定された (xx) 局の接続機器はサポートしていません。 (xx: 参加局名)		
0xC0B00085 SAAA133 -1062207355 3232759941	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) でデータタイプが異なります。GP シリーズ局へのデータ転送、または、GP シリーズ局からのデータ転送は転送元と転送先が同じデータタイプを指定する必要があります。	メッセージの指示に従い、データ転送機能の設定を確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B00086 SAAA134 -1062207354 3232759942	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) のグループの構造が異なるため、データ転送を実行できません。	メッセージの指示に従い、データ転送機能の設定を確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B00087 SAAA135 -1062207353 3232759943	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) の転送先データタイプが未サポートのタイプであるため、データ転送を実行できません。		
0xC0B00088 SAAA136 -1062207352 3232759944	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) の転送元データタイプが未サポートのタイプであるため、データ転送を実行できません。	メッセージの指示に従い、データ転送機能の設定を確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B00089 SAAA137 -1062207351 3232759945	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) でデータタイプが異なります。同じデータタイプを設定してください。		
0xC0B0008A SAAA138 -1062207350 3232759946	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) はデータ点数が 0 か範囲を超えています。		
0xC0B0008B SAAA139 -1062207349 3232759947	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) は GP シリーズ局の 32 ビットデバイスへのワードアクセスが指定されています。このアクセス方法はサポートしていません。		

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B0008C SAAA140 -1062207348 3232759948	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) は転送元が有効なデバイス範囲を越えています。	メッセージの指示に従い、データ転送機能の設定を確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B0008D SAAA141 -1062207347 3232759949	(データ転送: xx 転送元: xx 転送先: xx) は転送先が有効なデバイス範囲を越えています。		
0xC0B0008E SAAA142 -1062207346 3232759950	(xx) において指定されたアクションがありません。設定内容を見直してください。	メッセージの指示に従い、アクション設定を確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B0008F SAAA143 -1062207345 3232759951	(データ転送: xx 転送元グループ: xx) のデバイスデータの合計バッファサイズが大きすぎます。グループを分割してください。(xxByte 以下)	メッセージの指示に従い、グループシンボルのデータ数(配列の要素数がメンバー数、またはメンバーのデータ数)を減らしてください。	「29.3 シンボルのグループ化」
0xC0B00090 SAAA144 -1062207344 3232759952	(データ転送: xx 転送先グループ: xx) のデバイスの合計サイズが大きすぎます。グループを分割してください。(xxByte 以下)		
0xC0B00091 SAAA145 -1062207343 3232759953	(デバイスキャッシュ: xx) のデバイスの合計サイズが多すぎます。デバイスキャッシュを分割してください。(xxByte 以下)	『Pro-Studio EX』の機能設定画面で、デバイスキャッシュのデバイス数を減らしてください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B00092 SAAA146 -1062207342 3232759954	デバイスキャッシュの登録数が多すぎます。登録数を減らしてください。(xx 個以下)	『Pro-Studio EX』の機能設定画面で、デバイスキャッシュの登録数を減らしてください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B00093 SAAA147 -1062207341 3232759955	(デバイスキャッシュ: xx) のレコード数が多すぎます。レコード数を減らしてください。(xx 個以下)	『Pro-Studio EX』の機能設定画面で、デバイスキャッシュのレコード数を減らしてください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B00094 SAAA148 -1062207340 3232759956	参加局の登録数が多すぎます。登録数を減らしてください。(xx 局以下)	『Pro-Studio EX』の参加局設定画面で、参加局の登録数を減らしてください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00095 SAAA149 -1062207339 3232759957	(シンボルシート: xx シンボル: xx データ個数: xx) はデータ個数の範囲を超えています。(有効範囲: xx ~ xx)	『Pro-Studio EX』のシンボル設定画面で、シンボルのデータ個数を減らしてください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B00096 SAAA150 -1062207338 3232759958	(シンボルシート: xx グループ: xx) は最大行数を超えています。行数を減らしてください。(xx 行以下)	『Pro-Studio EX』のシンボル設定画面で、グループに登録しているデバイスを減らしてください。	「32.6 設定ガイド」

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00097 SAAA151 -1062207337 3232759959	参加局 (xx) には自局 PC の IP アドレスが設定されています。局の種類を Pro-Server EX 局または WinGP 局に変更するか、IP アドレスを変更してください。 (xx: 参加局名)	『Pro-Server EX』の参加局設定画面で設定している「参加局の種類」と「IP アドレス」が正しいことを確認してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00098 SAAA152 -1062207336 3232759960	ネットワークプロジェクトのサイズが最大値を超えています。	『Pro-Studio EX』の機能設定画面で、アクションまたはデータ転送の設定数を減らしてください。	該当するアクションの各章
0xC0B0009A SAAA154 -1062207334 3232759962	(シンボルシート :xx シンボル :xx) は型が個数が指定されていません。シンボルもしくはグループの構成情報を作成できません。	『Pro-Studio EX』のシンボル設定画面でシンボルの型と個数を指定してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B0009C SAAA156 -1062207332 3232759964	1 シンボルシート内でシンボル名もしくはグループ名が重複しています。(シンボルシート :xx 名前 1:xx 名前 2:xx)	『Pro-Studio EX』のシンボル設定画面でシンボルの型を指定してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B0009D SAAA157 -1062207331 3232759965	(参加局 :xx) の機器ドライバはサポートしていません(必要な機器ドライバがインストールされてません)。	接続機器の差分インストールを行ってください。	-
0xC0B000A8 SAAA168 -1062207320 3232759976	(起動条件 :xx xx) 配信やアクションで一斉同報通信による通信方法は WinGP 局に対しては利用できません。WinGP 局へ通信する場合は、起動条件の通信方法を個別通信に変更してください。	起動条件の通信方法を一斉同報通信から個別通信に変更してください。	「起動条件詳細設定」画面
0xC0B000A9 SAAA169 -1062207319 3232759977	(xx:xx) 指定されたデバイスもしくはシンボルは有効なデバイス範囲を越えています。	メッセージの指示に従い、機能画面の設定を確認してください。	-
0xC0B000AC SAAA172 -1062207316 3232759980	接続時チェックモードが NPX 差分転送モードの場合、GP シリーズ局を含める事は出来ません。GP シリーズ局を利用する場合は、Pro-Studio EX の [メニュー]-[設定]-[オプション設定] でオプションダイアログを表示して、接続時チェックモードを ID 比較モードにしてください。(GP シリーズ局 :xx)	「オプション設定」画面の [接続時チェックモード] から [ID 比較モード] を選択してください。	「34.3 オプション設定」

- \* - 1 行目 : エラーコード  
2 行目 : 統一エラーコード  
3 行目 : 10 進符号付きエラーコード  
4 行目 : 10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B000AD SAAA173 -1062207315 3232759981	接続時チェックモードがNPX差分転送モードの場合、データ転送（配信）の通信方法に一齐同報通信は使用できません。通信方法を個別通信を使用するか、接続時チェックモードをID比較モードにしてください。（一齐同報通信が設定されている起動条件：xx）	以下のいずれかを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「起動条件詳細設定」画面の「通信方法」から「個別通信」を選択</li> <li>「オプション設定」画面の「接続時チェックモード」から「ID比較モード」を選択</li> </ul>	「起動条件詳細設定」画面 「34.3 オプション設定」
0xC0B000AE SAAA174 -1062207314 3232759982	(xx: xx) 指定したデバイスに対して指定したデータタイプを使用できません。	『Pro-Studio EX』でエラーが表示されている機能の設定画面を表示し、指定したデバイスに対して、適切なデータタイプを再度設定しなおしてください。	-
0xC0B000AF SAAA175 -1062207313 3232759983	(シンボルシート: xx シンボル: xx アドレス: xx) 指定したデバイスをシンボルとして登録できません。	『Pro-Studio EX』でエラーが発生しているシンボルシートを表示し、シンボルを削除してください。 シンボルを使用している個所では、デバイスを直接指定してください。	-
0xC0B000B0 SAAA176 -1062207312 3232759984	(シンボルシート: xx シンボル: xx) にはビットオフセットシンボルは設定できません。	『Pro-Studio EX』のシンボル設定画面でシンボルのデータタイプをワードにするか、データ個数を1にしてください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B000B1 SAAA177 -1062207311 3232759985	(xx: xx) 指定されたデバイスアドレスは、データタイプがビットの場合、データ個数を2以上にすることはできません。	データタイプをワードにするか、データ個数を1にしてください。	-
0xC0B000E0 SAAA224 -1062207264 3232760032	警告: 異なるシンボルシート内にシンボル名もしくはグループ名が重複しています。重複している名前を利用するには、シート名を指定してください。（シンボルシート 1:xx シンボルシート 2:xx 重複している名前:xx）	名前が重複しないように、『Pro-Studio EX』のシンボル設定画面で名前を変更してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B000E1 SAAA225 -1062207263 3232760033	警告: シンボルシート名とシンボルもしくはグループ名が重複しています。重複している名前を利用するには、シート名を指定してください。（シンボルシート:xx 重複しているシンボル:(シート:xx 名前:xx)）	名前が重複しないように、『Pro-Studio EX』のシンボル設定画面で名前を変更してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B000E2 SAAA226 -1062207262 3232760034	警告:(データ転送:xx 転送元:xx 転送先:xx)でデータサイズが異なります。転送元(xx)のサイズに合わせて転送します。	データ転送機能を利用する場合、データ転送元と転送先のデータサイズは同じになるように設定してください。	「19.2 設定ガイド」

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B000E3 SAAA227 -1062207261 3232760035	警告：アクションの登録数が xx 件を超えています。アクションは多くのリソースを使用するため、パフォーマンスに影響がある可能性があります。登録数の削減を検討してください。 (xx: 件数)	アクションはパソコンの多くのリソースを消費します。そのため、最大 3000 個アクションを登録できますが、パフォーマンスを考えると 100 個以下を推奨します。	該当するアクションの各章
0xC0B000E4 SAAA228 -1062207260 3232760036	警告：配列変数 (xx) は要素数が多すぎて、WinGP 用 API 通信では配列全体にアクセスすることはできません。WinGP 用 API 通信でアクセスできる配列要素は先頭から xx 個までです。	GP-Pro EX で配列を複数個に分割して登録することを検討してください。 分割できない場合は Pro-Server EX では GP-Pro EX のプロジェクトファイルをネットワークプロジェクトにインポートするとき、一度にアクセスできる個数を超えるような配列変数は自動的に分割して複数のシンボルとして登録する機能があります。 WinGP SDK ではなく、Pro-Server EX の利用を検討してください。	-
0xC0B000E5 SAAA229 -1062207259 3232760037	(データ転送 :xx 転送元 :xx 転送先 :xx) 一斉同報通信による通信方法でタグを使用できません。	起動条件の通信方法を一斉同報通信から個別通信に変更してください。	「起動条件詳細設定」画面
0xC0B000E6 SAAA230 -1062207258 3232760038	(データ転送 :xx 転送元 :xx 転送先 :xx) タグをサポートしていない参加局のデータ転送は設定できません。	転送先に設定しているデバイスアドレスを、タグをサポートしている参加局へ変更してください。	「19.2 設定ガイド」
0xC0B000E7 SAAA231 -1062207257 3232760039	(起動条件 :xx アドレス :xx) 指定したデバイスアドレスまたはデータタイプは使用できません。	起動条件に指定しているデバイスアドレスを変更してください。	「33.1.1 起動条件の種類は？」
0xC0B000E8 SAAA232 -1062207256 3232760040	(データ転送 :xx 転送元 : 定数値 転送先 :xx) 一斉同報通信による通信方法でタグを使用できません。	起動条件の通信方法を一斉同報通信から個別通信に変更してください。	「起動条件詳細設定」画面
0xC0B000E9 SAAA233 -1062207255 3232760041	(データ転送 :xx 転送元 : 定数値 転送先 :xx) でデータタイプが異なります。同じデータタイプを選択してください。	転送元・転送先のデータタイプを同じにしてください。	「19.2 設定ガイド」
0xC0B000EA SAAA234 -1062207254 3232760042	(データ転送 :xx 転送元 :xx 転送先 :xx) 8 ビット型または日付時間型のデータタイプがグループに含まれているため、データ転送を実行できません。	8 ビット型、日付時間型のデータタイプを含むグループをデータ転送する場合は、グループ同士設定としてください。	「19.2 設定ガイド」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B000EB SAAA235 -1062207253 3232760043	(起動条件 :xx アドレス :xx)[ 起動条件 ]-[ 詳細設定 ]-[ 完了通知 ]-[ 処理が完了した事を示すビット ]と同じアドレスを設定できません。	起動条件が「デバイス ON 時 (OFF 時)」かつ「処理後、指定デバイスアドレスを OFF(ON)にする。」を設定している場合に、指定したデバイスアドレスが、詳細設定画面の「処理が完了した事を示すビット」で設定したアドレスと同じになっています。異なるアドレスを設定してください。	「起動条件詳細設定」画面
0xC0B000F0 SAAA240 -1062207248 3232760048	読み込んだ値が不正または範囲外のため、TIME 型の形式で表示できません。	デバイスに対して適切なデータタイプを選択してください。選択したデータタイプが正しい場合は、デバイスの値をフォーマットに沿った値にしてください。	-
0xC0B000F1 SAAA241 -1062207247 3232760049	読み込んだ値が不正または範囲外のため、TIME_OF_DAY 型の形式で表示できません。	デバイスに対して適切なデータタイプを選択してください。選択したデータタイプが正しい場合は、デバイスの値をフォーマットに沿った値にしてください。	-
0xC0B000F2 SAAA242 -1062207246 3232760050	読み込んだ値が不正または範囲外のため、DATE 型の形式で表示できません。	デバイスに対して適切なデータタイプを選択してください。選択したデータタイプが正しい場合は、デバイスの値をフォーマットに沿った値にしてください。	-
0xC0B000F3 SAAA243 -1062207245 3232760051	読み込んだ値が不正または範囲外のため、DATE_AND_TIME 型の形式で表示できません。	デバイスに対して適切なデータタイプを選択してください。選択したデータタイプが正しい場合は、デバイスの値をフォーマットに沿った値にしてください。	-

- \* - 1 行目 : エラーコード  
2 行目 : 統一エラーコード  
3 行目 : 10 進符号付きエラーコード  
4 行目 : 10 進符号なしエラーコード



## 36.3.4 「SAAF \* \* \*」のエラー情報

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00201 SAAF001 -1062206975 3232760321	TCP/IP が初期化できません。	Windows の [ コントロールパネル ] - [ ネットワーク接続 ] から接続設定がされているか確認し、かつ、その接続設定のプロパティで TCP/IP プロトコルがインストールされているか確認してください。『Pro-Server EX』は TCP/IP プロトコルがインストールされていないと動作しません。	-
0xC0B00203 SAAF003 -1062206973 3232760323	このパソコンには有効な IP アドレスが割り付けられていません。パソコンの TCP/IP の環境を確認してください。	LAN カードが正しく動作しているか確認してください。LAN ケーブルも確認してください。	「2.1.2 必要な機材」
0xC0B00204 SAAF004 -1062206972 3232760324	PLCInfo.xml ファイルをロードできません。	プロトコルドライバをアップデートしてください。それでも解決しない場合は、『Pro-Server EX』を再インストールしてください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00205 SAAF005 -1062206971 3232760325	Editor Driver がロードできません。		
0xC0B00206 SAAF006 -1062206970 3232760326	Active X I/F でエラーが発生しました。	OS が対象バージョンか確認してください。パソコンを再起動しても現象が発生する場合は『Pro-Server EX』を再インストールしてください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00207 SAAF007 -1062206969 3232760327	Pro-Server EX 用の DLL、EXE 間でバージョン不一致のため実行できません。xx プログラムを強制終了します。 (xx: プログラム名)	1 台のパソコン内に複数の異なるバージョンの『Pro-Server EX』または『Pro-Server EX』の DLL がインストールされていないか確認してください。1 台のパソコンには 1 バージョンの『Pro-Server EX』しかインストールできません。	-
0xC0B00208 SAAF008 -1062206968 3232760328	アクション コンテンツの INI ファイル ('xx') がオープンできません。 (xx: ファイル名)	パソコンを再起動してください。それでも解決しない場合は、『Pro-Server EX』を再インストールしてください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00209 SAAF009 -1062206967 3232760329	ファイル Core.ID が見つかりません。		

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B0020A SAAF010 -1062206966 3232760330	アクション 'xx' が使用するアクション コンテンツが起動できません。アクション コンテンツがないか壊れています。再インストールしてください。 (xx: アクション名)	アクションコンテンツがパソコン内に登録されていない可能性があります。アクションコンテンツがインストールされているか確認してください。 インストールされていても、このエラーが発生するのであれば、レジストリ登録が不十分な可能性があります。『Pro-Studio EX』でレジストリ登録してください。	-
0xC0B0020B SAAF011 -1062206965 3232760331	ProNet.dll が正しくインストールされていません。	パソコンを再起動してください。それでも解決しない場合は、『Pro-Server EX』を再インストールしてください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B0020C SAAF012 -1062206964 3232760332	Pro-Server EX を起動できません。Pro-Studio EX や Pro-Server EX を利用する全てのアプリケーションを一旦終了してから再度試みてください。	『Pro-Server EX』または『Pro-Server EX』を利用するアプリケーションを正常終了していないため、『Pro-Server EX』が起動できない可能性があります。 『Pro-Server EX』および、それを利用しているアプリケーションを全て一旦終了し、再度試みてください。	-
0xC0B0020D SAAF013 -1062206963 3232760333	現在のログオンユーザーには OS のリソースの作成が許可されていないためご利用できません。	ログオンユーザーにグローバルオブジェクトの作成権限を与えてください。 もしくは Administrator で実行してください。	-
0xC0B00211 SAAF017 -1062206959 3232760337	新しい API ではサポートしていません。	ご使用の API は利用できません。別の方法を検討してください。	「第 27 章 独自のプログラムを設計したい!」
0xC0B00212 SAAF018 -1062206958 3232760338	指定された文字列はデバイスアドレスとして不正です。	アドレスの指定方法を再確認してください。 接続機器や参加局が変更になっていないかを確認してください。 対応する接続機器のドライバがインストールされているかを確認してください。	-
0xC0B00213 SAAF019 -1062206957 3232760339	指定されたデバイスはビットアクセス以外はサポートしていません。	アクセス対象のデバイスおよびアクセス方法を確認してください。	「32.6 設定ガイド」

- \* - 1 行目: エラーコード  
2 行目: 統一エラーコード  
3 行目: 10 進符号付きエラーコード  
4 行目: 10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00214 SAAF020 -1062206956 3232760340	指定された機器ドライバはサ ポートしていません（必要な機 器ドライバがインストールされ てません）。	接続機器の差分インストールを おこなってください。	『Pro-Server EX イン ストレーションガイ ド』
0xC0B00215 SAAF021 -1062206955 3232760341	パラメータの値が不正です。	API を使用中に発生した場合は API の引数を確認してくださ い。 何かの機能を使用中に発生した 場合は、その機能の設定を確認 してください。	「第 27 章 独自のプ ログラムを設計した い！」
0xC0B00216 SAAF022 -1062206954 3232760342	デバイス番号が範囲外です。	デバイス番号を確認してくださ い。	-
0xC0B00217 SAAF023 -1062206953 3232760343	指定されたデバイスは存在しま せん。	接続機器の設定、システム先頭 エリアの設定が正しいかを確認 してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00218 SAAF024 -1062206952 3232760344	指定されたグループシンボルは 存在しません。	グループシンボルの指定が正し いかを確認してください。	「29.3 シンボルのグ ループ化」
0xC0B00219 SAAF025 -1062206951 3232760345	指定されたデバイスアドレス は、データタイプがビットの場 合、データ個数を 2 以上にする ことはできません。	データタイプをワードにする か、データ個数を 1 にしてくだ さい。	-
0xC0B0021A SAAF026 -1062206950 3232760346	キューイングアクセスに、リー ドアクセスとライトアクセス、 もしくは、キャッシュアクセス とダイレクトアクセスを混在さ せることはできません。	キューイングの開始から実際の アクセス実行までの間に、異な るアクセス方法がないかを確認 してください。 異なるアクセス方法が必要な場 合は、キューイングアクセスを 分けてください。	「27.4 キューイング アクセス制御 API」
0xC0B0021D SAAF029 -1062206947 3232760349	指定された局はネットワークプ ロジェクトに登録されていま せん。	参加局の指定を確認してくださ い。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B0021F SAAF031 -1062206945 3232760351	API が二重に呼び出されまし た。指定された Pro-Server EX 用アクセスハンドルは既に実行 中です。	同時に API をコールする必要が ある場合は、Pro-Server ハンド ルを分けてください。 または、同時に API をコールし ないように EasySetWaitType() 、EasySetWaitTypeM() の使用を検 討してください。	「27.5 システム系 API」

\* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00220 SAAF032 -1062206944 3232760352	データの型変換で変換元と変換先のデータの型が変換可能な型ではありません。	Variant 型の内容を確認してください。	-
0xC0B00221 SAAF033 -1062206943 3232760353	未サポートのバックアップデータの種類の指定されました。	データの種類の指定を確認してください。	-
0xC0B00222 SAAF034 -1062206942 3232760354	SRAM バックアップデータファイルの作成もしくはオープンに失敗しました。	パソコンの保存先ファイルやフォルダの指定、空き容量やファイルへのアクセス権などを確認してください。	「20.2 設定ガイド」
0xC0B00223 SAAF035 -1062206941 3232760355	バックアップデータの書き込みもしくは読み込みでファイルのアクセスに失敗しました。	SRAM バックアップデータの書き込み、または読み込みで指定するファイルへのアクセスでエラーが発生しました。パソコンの空き容量やファイルへのアクセス権など確認して再度実行してください。	「20.2 設定ガイド」
0xC0B00224 SAAF036 -1062206940 3232760356	SRAM バックアップデータの書き込みで、指定されたファイルサイズが大きすぎます。96Kbyte 以下にしてください。	SRAM バックアップデータの書き込みで指定するファイルが正しいかを確認してください。また、ファイルサイズが 96Kbyte 以下のものを指定してください。	「20.2 設定ガイド」
0xC0B00225 SAAF037 -1062206939 3232760357	数値の指定が不正です。数値を正しく指定してください。	数値として有効な文字列かを確認してください。	-
0xC0B00226 SAAF038 -1062206938 3232760358	データ点数の指定が 0 か範囲を超えています。	データ点数を確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B00227 SAAF039 -1062206937 3232760359	最大アクセス先数が多すぎます (1500 箇所以内にしてください)。	分割してアクセスすることを確認してください。	-
0xC0B00228 SAAF040 -1062206936 3232760360	アクセスするデータの合計バッファサイズが大きすぎます (1M バイト以内にしてください)。		

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00230 SAAF048 -1062206928 3232760368	Pro-Server EX が起動できません。	パソコンを再起動してください。それでも解決しない場合は、『Pro-Server EX』を再インストールしてください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00231 SAAF049 -1062206927 3232760369	Pro-Studio EX が起動できません。		
0xC0B00232 SAAF050 -1062206926 3232760370	デバイスモニタが起動できません。		
0xC0B00233 SAAF051 -1062206925 3232760371	シンボルモニタが起動できません。	パソコンを再起動してください。それでも解決しない場合は、『Pro-Server EX』を再インストールしてください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00234 SAAF052 -1062206924 3232760372	ステータスモニタが起動できません。		
0xC0B00235 SAAF053 -1062206923 3232760373	ログビューアが起動できません。		
0xC0B00236 SAAF054 -1062206922 3232760374	デバイス アクセス ログが起動できません。		
0xC0B00237 SAAF055 -1062206921 3232760375	指定された局からはバックアップデータの読出しをおこなえません。	Pro-Server EX 局が指定されています。バックアップデータの読出しは Pro-Server EX 局以外の参加局で可能です。Pro-Server EX 局以外の参加局を指定してください。	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00238 SAAF056 -1062206920 3232760376	ロギングデータの読出しはおこなえません。	ロギングデータの読出しを実行しないように設定を変更してください。	「18.2 設定ガイド」
0xC0B00239 SAAF057 -1062206919 3232760377	トレンドデータの読出しはおこなえません。	トレンドデータの読出しを実行しないように設定を変更してください。	「18.2 設定ガイド」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00240 SAAF064 -1062206912 3232760384	指定された Pro-Server EX 用アクセスハンドルは有効なものではありません。	ハンドル値が正しいか（ハンドルの値が 0 でないか、正しく作られたものか、既に破棄していないかなど）を確認してください。	「27.5 システム系 API」
0xC0B00241 SAAF065 -1062206911 3232760385	未サポートのコマンドのため、処理を継続できません。	パソコンを再起動してください。それでも解決しない場合は、『Pro-Server EX』を再インストールしてください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00242 SAAF066 -1062206910 3232760386	Pro-Server EX は停止したため、処理できません。	『Pro-Server EX』の終了は全てのアプリケーション終了後に行ってください。	-
0xC0B00243 SAAF067 -1062206909 3232760387	サーバーからの処理結果待ちで、先にアプリケーションが終了しようとしてしました。	もし、WM_QUIT を受信したくないのであれば、マルチハンドル系の API を EasySetWaitTypeM(2) でご利用ください。	「27.5 システム系 API」
0xC0B00244 SAAF068 -1062206908 -1062206908	ファイル名が 256 文字を超えています。256 文字以内にしてください。	ファイル名の指定を確認してください。	「24.1 Factory Gateway と接続してみよう！」
0xC0B00245 SAAF069 -1062206907 3232760389	キューイングアクセスの登録が開始されていません。	プログラムのシーケンスを確認してください。	「27.4 キューイングアクセス制御 API」
0xC0B00246 SAAF070 -1062206906 3232760390	キューイングアクセスの実際のアクセスが実施されていません。		
0xC0B00247 SAAF071 -1062206905 3232760391	指定された番号へのデバイスアクセスは失敗しています。	ケーブルや接続機器の動作環境を確認してください。	「2.2 パソコンと表示器を接続しよう」
0xC0B00248 SAAF072 -1062206904 3232760392	指定された番号のデバイスアクセスは登録されていません。事前登録したアクセス件数と番号を確認してください。	プログラムのシーケンスを確認してください。	「第 27 章 独自のプログラムを設計したい！」
0xC0B00249 SAAF073 -1062206903 3232760393	アクションに対してのキャッシュアクセスはサポートしていません。	キャッシュ登録するときのデバイス名がアクション名と重なっていないかを確認してください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B0024A SAAF074 -1062206902 3232760394	アクションに対してのキューイングアクセス、グループアクセスはサポートしていません。	アクションに対しキューイングアクセスを行っていないかを確認してください。(デバイス名がアクション名と重なっていないか確認してください。) グループシンボル内にアクション名と同じシンボルまたはデバイスアドレスがないかを確認してください。	「27.4 キューイングアクセス制御 API」 「29.3 シンボルのグループ化」
0xC0B0024B SAAF075 -1062206901 3232760395	未登録のアクションため実行できません。	データ転送等にアクション名と同名のデバイスやシンボルが登録されていないかを確認してください。	-
0xC0B0024C SAAF076 -1062206900 3232760396	指定されたグループ番号はサンプリングデータのグループ番号の範囲を超えています。	API の引数を見直してください。	「第 27 章 独自のプログラムを設計したい!」
0xC0B0024D SAAF077 -1062206899 3232760397	キューイングアクセスに読み込みと書き込みを混在させることはできません。	プログラムのシーケンスを確認してください。	「第 27 章 独自のプログラムを設計したい!」
0xC0B0024E SAAF078 -1062206898 3232760398	指定したデバイスに対して指定したデータタイプを使用できません。	指定したデバイスに対して、使用可能なデータタイプかを確認してください。	-
0xC0B0025F SAAF095 -1062206881 3232760415	指定したデバイスに対して指定したデータタイプを使用できません。	指定したデバイスに対して、使用可能なデータタイプかを確認してください。	-
0xC0B0024F SAAF079 -1062206897 3232760399	入力値が不正または範囲外です。	入力値の文字列、またはバイナリ値のフォーマットが正しいことを確認してください。	-
0xC0B00250 SAAF080 -1062206896 3232760400	語句がありません。	API の引数を見直してください。	「第 27 章 独自のプログラムを設計したい!」
0xC0B00251 SAAF081 -1062206895 3232760401	不正な名前か語句です。名前か語句の中に使用できない文字があります。		

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00252 SAAF082 -1062206894 3232760402	指定された局はネットワークプロジェクトに登録されていません。	API の引数を見直してください。 意図しているネットワークプロジェクトをロードしているか確認してください。	「第 27 章 独自のプログラムを設計したい！」
0xC0B00253 SAAF083 -1062206893 3232760403	指定された接続機器は登録されていません。		
0xC0B00254 SAAF084 -1062206892 3232760404	配列のインデックスの指定エラーです。	配列の指定方法を確認してください。	「29.4 シンボルの配列化」
0xC0B00255 SAAF085 -1062206891 3232760405	指定されたデバイスは未定義なシンボルか不正なアドレスです。	デバイスアドレスの指定方法を確認してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B00256 SAAF086 -1062206890 3232760406	シンボル名が不正かグループの入れ子指定が深すぎます。		
0xC0B00257 SAAF087 -1062206889 3232760407	文字列型のシンボルに対してのインデックス指定はできません。		
0xC0B00258 SAAF088 -1062206888 3232760408	配列のインデックスが大きすぎます。		
0xC0B00259 SAAF089 -1062206887 3232760409	デバイス指定としてグループシンボルを利用できないものに対し、グループシンボルが指定されました。	デバイスアドレスの指定方法を確認してください。	「32.6 設定ガイド」
0xC0B0025A SAAF090 -1062206886 3232760410	デバイス指定にグループシンボルを指定してください。		
0xC0B0025B SAAF091 -1062206885 3232760411	シンボルシート名が不正か、指定された機器では利用できません。		
0xC0B0025C SAAF092 -1062206884 3232760412	接続機器名が 2 重に指定されています。	参加局またはデバイスアドレスの指定方法を確認してください。	「31.5 設定ガイド」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード



エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B0025E SAAF094 -1062206882 3232760414	オプション指定文字列の解析に失敗しました。	API 関数を利用中に発生した場合は API の引数を確認してください。 それ以外の機能を利用中に発生した場合は、その機能の設定を確認してください。	-
0xC0B00260 SAAF096 -1062206880 3232760416	表示器への接続時にエラーが発生しました。	パソコンの LAN カードが使用できない状態の可能性があります。LAN カードが無効になっている場合は、有効にしてください。	「2.1.2 必要な機材」
0xC0B00261 SAAF097 -1062206879 3232760417	表示器への接続時にエラーが発生しました。		
0xC0B00262 SAAF098 -1062206878 3232760418	ファイルの読出しに失敗しました。	CF カードフォルダ内に指定されたファイルが存在するか確認してください。存在する場合はファイルのアクセス権を確認してください。	-
0xC0B00263 SAAF099 -1062206877 3232760419	ファイルの書込みに失敗しました。	書き込み先のアクセス権を確認してください。アクセス権に問題がない場合は、CF カードの空き容量が少なくなっている可能性があるため、CF カードの空き容量を確認してください。	-
0xC0B00264 SAAF100 -1062206876 3232760420	指定されたファイルが見つかりません。	指定したファイルが存在するか確認してください。	-
0xC0B00265 SAAF101 -1062206875 3232760421	ファイルの削除に失敗しました。	CF カードフォルダ内に指定されたファイルが存在するか確認してください。存在する場合はファイルのアクセス権を確認してください。	-
0xC0B00266 SAAF102 -1062206874 3232760422	ファイル名の変更に失敗しました。	CF カードフォルダ内に指定されたファイルが存在するか確認してください。存在する場合はファイルのアクセス権、変更後のファイル名に使用禁止文字を使用していないかを確認してください。	-
0xC0B00267 SAAF103 -1062206873 3232760423	ファイルリスト保存ファイルを開くことができません。	保存先フォルダのアクセス権を確認してください。アクセス権に問題がない場合はドライブの容量が少なくなっている可能性があるため、ドライブの空き容量を確認してください。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00269 SAAF105 -1062206871 3232760425	ファイル名が入力されていません。	ファイル名を入力してください。	-
0xC0B0026A SAAF106 -1062206870 3232760426	ファイルパスが長すぎます。	ファイルパスを短くしてください。	-
0xC0B0026C SAAF108 -1062206868 3232760428	表示器への接続がリセットされました。	参加局の電源が切れていないか、ケーブルが抜けていないかを確認し、再度実行してください。	「2.2 パソコンと表示器を接続しよう」
0xC0B0026D SAAF109 -1062206867 3232760429	相手局からの応答がありません。		
0xC0B0026E SAAF110 -1062206866 3232760430	処理中に接続が中断されたため、処理が完了しませんでした。		
0xC0B0026F SAAF111 -1062206865 3232760431	指定された局名が存在しないため接続できません。	指定された局名が登録されているネットワークプロジェクトファイルを『Pro-Server EX』にロードしてください。	「24.1 Factory Gateway と接続してみよう！」
0xC0B00272 SAAF114 -1062206862 3232760434	パラメータの値が不正です。	引数を見直し、正しい値を設定してください。	「第 27 章 独自のプログラムを設計したい！」
0xC0B00273 SAAF115 -1062206861 3232760435	CF カード内のファイル一覧取得に失敗しました。	指定したファイルタイプが正しいかを確認してください。また、保存先フォルダのアクセス権を確認してください。アクセス権に問題がない場合はドライブの容量が少なくなっている可能性があるため、ドライブの空き容量を確認してください。	-
0xC0B00274 SAAF116 -1062206860 3232760436	表示器に接続できませんでした。	参加局がビジー状態の可能性があります。少し時間がたってから再度実行してください。または、転送ツールで参加局と接続している場合は、転送ツールを終了してから、再度実行してください。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00280 SAAF128 -1062206848 3232760448	相手局からの応答がありません。	<p>自局と相手局が正しくネットワーク接続できていません。次のことを確認した後に、再度転送または削除を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークのケーブルが正しく接続されていること。</li> <li>• 相手局の電源が入っていること。</li> <li>• 『Pro-Studio EX』の参加局設定で IP アドレスが正しいこと。</li> </ul>	「31.5 設定ガイド」
0xC0B00281 SAAF129 -1062206847 3232760449	指定された参加局の機種を判定できません。サポートしていない表示器です。	<p>サポートしていない表示器を接続しないでください。また参加局の設定が間違っていないか確認してください。</p> <p>それでも解決しない場合は、『Pro-Server EX』を再インストールしてください。</p>	「対応機種」
0xC0B00282 SAAF130 -1062206846 3232760450	2WayDriver のバージョンが 4.50 未満のため実行できません。	<p>GP シリーズ局の 2Way ドライバのバージョンが古い場合、指定の機能が実行できません。GP シリーズ局の 2Way ドライバのバージョンアップを実施してから、実行してください。</p>	
0xC0B00283 SAAF131 -1062206845 3232760451	画面キャプチャ機能をサポートしていません。		
0xC0B00284 SAAF132 -1062206844 3232760452	新ファイリングデータをサポートしていません。		
0xC0B00285 SAAF133 -1062206843 3232760453	デバイスキャッシュが見つかりませんでした。	指定したデバイスキャッシュ名でキャッシュバッファを生成していることを確認してください。デバイスキャッシュ名が正しいことを確認してください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B00286 SAAF134 -1062206842 3232760454	デバイスキャッシュは既に登録されています。	既に同じデバイスキャッシュ名でキャッシュバッファを生成していないことを確認してください。デバイスキャッシュ名が正しいことを確認してください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B00287 SAAF135 -1062206841 3232760455	デバイスキャッシュのハンドルは無効です。	ハンドルが正しいことを確認してください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00288 SAAF136 -1062206840 3232760456	デバイスキャッシュ数が最大値を超えました。	キャッシュバッファの最大値は1000個です。これ以上キャッシュバッファを登録することはできません。登録する場合は、既に登録済みキャッシュバッファの数を減らしてください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B00289 SAAF137 -1062206839 3232760457	デバイスキャッシュのレコード数が最大値を超えました。	他のキャッシュバッファヘレコードを登録してください。またはレコード数を減らしてください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B0028A SAAF138 -1062206838 3232760458	デバイスキャッシュサイズが最大値を超えました。	他のキャッシュバッファヘレコードを登録してください。または総バイト数を減らしてください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B0028B SAAF139 -1062206837 3232760459	デバイスキャッシュが処理中で実行できませんでした。	キャッシュバッファヘレコードを登録するときには、キャッシュ動作停止状態で実行してください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B0028E SAAF142 -1062206834 3232760462	不正な転送パスワードです。	参加局に設定されている転送パスワードと入力したパスワードが異なります。正しい転送パスワードを使用して、再度転送してください。転送パスワードを忘れた場合は、『GP-Pro EX』で転送パスワードを再設定するか削除してください。	「23.1.1 リモート接続したい」
0xC0B0028F SAAF143 -1062206833 3232760463	転送に失敗しました。	再度転送してください。それでも転送できない場合は、『GP-Pro EX』でプロジェクトファイルを参加局へ強制転送した後に、『Pro-Studio EX』でネットワークプロジェクトファイルを転送してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0B00290 SAAF144 -1062206832 3232760464	相手局に接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加局が転送状態になっています。しばらく時間を置いてから再度転送してください。または参加局の電源を入れ直してから再度転送してください。</li> <li>相手局が『Pro-Studio EX』のサポート対象機種であることを確認してください。</li> </ul>	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」 「対応機種」
0xC0B00294 SAAF148 -1062206828 3232760468	接続先の本体を認識できませんでした。Pro-Studio EXのサポート対象機種かどうかを確認してください。	相手局が『Pro-Studio EX』のサポート対象機種であることを確認してください。	「対応機種」

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00298 SAAF152 -1062206824 3232760472	転送先の本体で書き込みエラーが発生しました。	『GP-Pro EX』でプロジェクトファイルを参加局へ強制転送した後に、『Pro-Studio EX』でネットワークプロジェクトファイルを転送してください。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0B00299 SAAF153 -1062206823 3232760473	CF カード未サポート機種または CF カードが挿入されていません。	CF カードまたは SD カードが正しく挿入されているかを確認してください。	-
0xC0B0029B SAAF155 -1062206821 3232760475	システムエラー	『Pro-Studio EX』を再インストールしてください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B0029C SAAF156 -1062206820 3232760476	転送を中断しました。	利用者が中断せずに、処理を継続すると、本メッセージは表示されません。	「25.1 ネットワークプロジェクトの保存」
0xC0B0029D SAAF157 -1062206819 3232760477	転送先の GP Runtime (2WayDriver) のバージョンが V4.55 未満のためネットワークプロジェクトを転送できません。GP Runtime (2WayDriver) をバージョンアップしてから、再度転送してください。	GP-PRO/PB III で新しい 2Way Driver を GP シリーズ局へ転送してください。	-
0xC0B002A1 SAAF161 -1062206815 3232760481	参加局の設定が実際の機種と異なります。	『Pro-Studio EX』の参加局で設定した内容と実際の機種が異なります。次のことを確認した後に、再度転送または削除を実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加局の種別が実際の機種と同一であること。</li> <li>IP アドレスの設定が正しいこと。</li> <li>接続している表示器の機種が正しいこと。</li> </ul>	「31.5 設定ガイド」
0xC0B002A2 SAAF162 -1062206814 3232760482	表示器にプロジェクトファイルがないか、壊れているため読出しすることができません。	『GP-Pro EX』でプロジェクトファイルを参加局へ転送してください。	『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』
0xC0B002A3 SAAF163 -1062206813 3232760483	表示器のランタイムバージョンが古いいためネットワークプロジェクトを転送できません。	『GP-Pro EX』で新しいランタイムを参加局へ転送してください。	『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B002A4 SAAF164 -1062206812 3232760484	デバイスキャッシュへデバイスを登録できません。	デバイスキャッシュのサンプリング周期が0のときは、パソコンまたはGPシリーズ局のデバイスは登録できません。デバイスキャッシュのサンプリング周期を0以外にして登録してください。	「29.5 よく使用するデバイスのキャッシュ登録」
0xC0B002A5 SAAF165 -1062206811 3232760485	プロジェクトファイルの保存に失敗しました。	パソコンのハードディスク空き容量が少ない場合には、空き容量を増やした後に再度実行してください。またはパソコンを再起動して再度実行してください。	-
0xC0B002A6 SAAF166 -1062206810 3232760486	SRAM バックアップデータの読み出しは既に実行されているため、現在処理できません。	もう一度 SRAM バックアップデータの読み出しを実行してください。	「20.2 設定ガイド」
0xC0B002A7 SAAF167 -1062206809 3232760487	SRAM バックアップデータの読み出しで、引数に誤りがあります。	正しい引数を使用して、SRAM バックアップデータの読み出しを実行してください。	「27.6 SRAM 内データアクセス API」
0xC0B002A8 SAAF168 -1062206808 3232760488	保存ファイルの書き込みに失敗しました。	パソコンのハードディスク空き容量が少ない場合には、空き容量を増やした後に再度実行してください。またはパソコンを再起動して再度実行してください。	-
0xC0B002A9 SAAF169 -1062206807 3232760489	Pro-Server EX が起動していないため、処理を継続できません。	Pro-Server EX を起動してください。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B002AA SAAF170 -1062206806 3232760490	指定されたインデックスの参加局情報は存在しません。	API 関数を利用中に発生した場合は API の引数を確認してください。 それ以外の機能を利用中に発生した場合は、その機能の設定を確認してください。	-
0xC0B002AB SAAF171 -1062206805 3232760491	指定されたインデックスの接続機器情報は存在しません		-
0xC0B002AC SAAF172 -1062206804 3232760492	指定されたインデックスのシンボルシート情報は存在しません。		-
0xC0B002AD SAAF173 -1062206803 3232760493	指定されたインデックスのグローバル定数情報は存在しません。		-
0xC0B002AE SAAF174 -1062206802 3232760494	指定されたインデックスのデバイスキャッシュ情報は存在しません。		-
0xC0B002AF SAAF175 -1062206801 3232760495	アドレス範囲外のデバイスにアクセスしました。	範囲外のデバイスにアクセスしました。	-
0xC0B002B0 SAAF176 -1062206800 3232760496	R_ デバイスは未サポートです。	Pro-Server EX では R_ デバイスはサポートしていません。 他のデバイスを使用してください。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

## 36.3.5 「SAAJ \* \* \*」のエラー情報

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00501 SAAJ001 -1062206207 3232761089	Pro-Server EX ハンドルの取得に失敗しました。	ハンドルが正しいことを確認してください。	「27.5 システム系 API」
0xC0B00502 SAAJ002 -1062206206 3232761090	アクションレポートシートのテンプレートが開けないか、シートが追加できません。	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストレーションガイド』
0xC0B00503 SAAJ003 -1062206205 3232761091	EXCEL の起動に失敗しました。	Excel がインストールされていることを確認して、パソコンを再起動してください。	-
0xC0B00504 SAAJ004 -1062206204 3232761092	テンプレートブックが開けません。	テンプレートファイルの編集で保存し直して、リロードを行ってください。 このエラーが発生した状態で Excel を起動すると Pro-Server EX 終了のタイミングで Excel が終了してしまいます。 エラー発生時には Pro-ServerEX を終了してから Excel を起動させてください。	該当するアクションの各章
0xC0B00505 SAAJ005 -1062206203 3232761093	アクションシステムエラー	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストレーションガイド』
0xC0B00506 SAAJ006 -1062206202 3232761094	出力ブックを保存できません。	一旦、Pro-Server EX を終了してください。出力ファイルの属性が読み取り専用になっていないかを確認して、再度リロードを行ってください。	-
0xC0B00507 SAAJ007 -1062206201 3232761095	指定されたテンプレートシート (xx) はテンプレートブック内にありません。 (xx: テンプレートシート名)	テンプレートファイルに指定したシートが存在するか確認してください。	-
0xC0B00508 SAAJ008 -1062206200 3232761096	シートの追加に失敗しました。	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストレーションガイド』
0xC0B00509 SAAJ009 -1062206199 3232761097	コマンド (xx) が解釈できないため実行できません。 (xx: コマンド名)	テンプレートファイルの編集で保存し直してください。 もしくは、新規でテンプレートファイルを作成し直してください。	該当するアクションの各章

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード



エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B0050A SAAJ010 -1062206198 3232761098	印刷に失敗しました。	通常使うプリンターの状態を確認してください。	-
0xC0B0050B SAAJ011 -1062206197 3232761099	指定されたデータの種類のサポートしていません。	指定したアクションの設定はサポートしていません。	-
0xC0B0050C SAAJ012 -1062206196 3232761100	Pro-Server EX のバージョンが古い ため実行できません。	再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX イン ストレーションガイ ド』
0xC0B0050D SAAJ013 -1062206195 3232761101	アクション レポート シートが 壊れています。		
0xC0B0050E SAAJ014 -1062206194 3232761102	画像を貼り付けることができま せん。	画像ファイルがない可能性があ ります。表示器にて画像デー タを作成し直してください。	『GP-Pro EX リファレ ンスマニュアル』
0xC0B0050F SAAJ015 -1062206193 3232761103	取得した CSV ファイルのファ イルヘッダが壊れているため、 そのファイルを読み込むことが できません。	CSV ファイルが壊れている可能 性があります。表示器にてログ データの CSV ファイルを作成 しなおしてください。	-
0xC0B00510 SAAJ016 -1062206192 3232761104	指定された CSV ファイル (xx) がオープンできません。 (xx: ファイル名)	CSV ファイルが壊れている可能 性があります。表示器にてログ データの CSV ファイルを作成 し直してください。	『GP-Pro EX リファレ ンスマニュアル』
0xC0B00511 SAAJ017 -1062206191 3232761105	アクションエリアのサイズが小 さすぎます。	アクションの出力範囲が小さ すぎます。テンプレートファイ ルの編集にて、アクションエ リアを広げてください。	該当するアクション の各章
0xC0B00512 SAAJ018 -1062206190 3232761106	指定されたデータ型はサポート していません。	テンプレートファイルの編集で 保存し直してください。	該当するアクション の各章
0xC0B00513 SAAJ019 -1062206189 3232761107	ファイル名が長すぎて出力ブ ックを作成できません。	ファイル名を短くしてくださ い。	該当するアクション の各章
0xC0B00514 SAAJ020 -1062206188 3232761108	マクロの実行でエラーが発生し ました、詳細はログビューアを 参照してください。	実行するマクロを再度確認し てください。	-

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード*	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00515 SAAJ021 -1062206187 3232761109	スクロール処理に失敗しました。	パソコンを再起動してください。それでも発生する場合は再インストールを行ってください。	『Pro-Server EX インストールガイド』
0xC0B00516 SAAJ022 -1062206186 3232761110	ファイル保存の指定が不正です。	実行するエクスポートの指定を再度確認してください。	-
0xC0B00520 SAAJ032 -1062206176 3232761120	レシピのレコード番号が設定されていないため、レコード番号を特定できませんでした。レシピの設定ダイアログで、レコード番号の指定方法を設定してください。	レシピの設定ダイアログで、レコード番号の指定方法を設定してください。	該当するアクションの各章
0xC0B00521 SAAJ033 -1062206175 3232761121	ランタイムエラーが発生しました。対象の出力シートが不明またはセル範囲が不正です。	出力先フォルダおよびファイルを確認してください。アクションエリアのセル範囲が正しいことを確認してください。	該当するアクションの各章
0xC0B00522 SAAJ034 -1062206174 3232761122	別名ファイルの読み込みに失敗しました。	テンプレートファイルの編集にて文字列置換テーブル設定を確認してください。	「12.3 設定ガイド」
0xC0B00523 SAAJ035 -1062206173 3232761123	該当するレコード番号のレシピがありません。	テンプレートファイルの編集にてレシピレコード番号の設定を確認してください。	「12.3 設定ガイド」
0xC0B00524 SAAJ036 -1062206172 3232761124	出力ファイルをエクスポートできません。	実行するエクスポートの設定を確認してください。	-
0xC0B00525 SAAJ037 -1062206171 3232761125	指定されたアクションエリアがありません。	テンプレートファイルを開き保存しなおしてください。	該当するアクションの各章
0xC0B00526 SAAJ038 -1062206170 3232761126	セル矢印の設定が不正です。目盛りまたは矢印の開始 / 終了値が正しくありません。	テンプレートファイルの編集にてセル矢印の設定確認してください。	「5.3.2 設定ガイド」
0xC0B00527 SAAJ039 -1062206169 3232761127	文字列に置換してデバイス値の書込みはできません。書込み時は置換指定を解除してください。	文字列に置換してデバイス値の書込みはできません。書込み時は置換指定を解除してください。	「12.3 設定ガイド」
0xC0B00528 SAAJ040 -1062206168 3232761128	セルが編集モード中は、アクションを実行できません。セル編集を終了してから、再度アクションを実行してください。	セル編集を終了してから、再度アクションを実行してください。	該当する章の設定ガイド

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

エラーコード *	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
0xC0B00529 SAAJ041 -1062206167 3232761129	アクションエリアが小さくて、 書込みできません。	アクションの出力範囲が小さすぎます。テンプレートファイルの編集にて、アクションエリアを広げてください。	該当する章の設定ガイド
0xC0B0052A SAAJ042 -1062206166 3232761130	テンプレートファイルと別名ファイルが同じファイルであるため、置換することができません。別名ファイルにはテンプレートファイルと異なるファイルを指定してください。	別名ファイルにはテンプレートファイルと異なるファイルを指定してください。	該当する章の設定ガイド
0xC0B0052B SAAJ043 -1062206165 3232761131	出力ブックが開けません。	出力ブックにはテンプレートファイル、文字列置換ファイルと異なるファイルを指定してください。	該当する章の設定ガイド

- \* - 1 行目：エラーコード  
2 行目：統一エラーコード  
3 行目：10 進符号付きエラーコード  
4 行目：10 進符号なしエラーコード

## 36.4 エラーメッセージ

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9300	2454h	ネットワークプロジェクトファイルがありません。
9301 : 9329	2455h : 2471h	予約
9330	2472h	リソース不足で実行できません。プログラムを強制終了します。
9331	2473h	システムリソースがデットロックしました。プログラムを強制終了します。
9332	2474h	システムエラー
9333	2475h	プログラム間のバージョン不一致のため実行できません。プログラムを強制終了します。
9334 : 9339	2476h : 247Bh	予約
9340	247Ch	<%s> ファイルをアクセス中にエラーが発生しました。
9341	247Dh	Pro-Server を使用するアプリケーション数が多すぎます。
9342	247Eh	OS のリソース不足（メモリー不足）です。
9343	247Fh	設定されたコネクタは別のアプリケーションで使用されています。
9344	2480h	Pro-Server が未だ起動されていません。データを参照できませんでした。
9345	2481h	Pro-Server が終了されています。データを参照できませんでした。
9346	2482h	Pro-Server が終了されています。処理を継続できません。
9347	2483h	Pro-Server が未だ起動されていません。処理を継続できません。
9348	2484h	Pro-Server を起動できませんでした。
9349	2485h	Pro-Studio を起動できませんでした。
9350	2486h	未サポートのコマンドです。処理を継続できません。
9351	2487h	ネットワークプロジェクトファイルのロードに失敗しました。
9352	2488h	設定された局名は既に登録されています。
9353	2489h	設定された局名は登録されていません。
9354	248Ah	未サポートのバックアップデータの種類の指定されました。
9355	248Bh	ファイルの書込みに失敗しました。
9356	248Ch	SRAM バックアップデータ保存用ファイルを作成できませんでした。
9357	248Dh	設定された局名は登録されていません。
9358	248Eh	Pro-Server は既に起動中です。二重起動できません。
9359	248Fh	予約
9360	2490h	'%s' の設定がありません。
9361	2491h	'%s' に 0 は設定できません。
9362	2492h	'%s' は次のように設定してください。“ xxx.xxx.xxx.xxx xxx ” には 0 ～ 255 の値を設定してください。

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9363	2493h	'%s' は不正な値です。
9364	2494h	'%s' として使用できない文字が含まれています。
9365	2495h	'%s' が設定されていません。
9366	2496h	サーバーからの処理結果が返信されるまで、新たな処理はできません。
9367	2497h	サーバーからの処理結果待ち状態で、アプリケーションが終了しようとした。
9368	2498h	読み出し可能なモードではないため実行できません。再ログオンしてください。
9369	2499h	書き込み可能なモードではないため実行できません。再ログオンしてください。
9370	249Ah	設計者モードではないため実行できません。再ログオンしてください。
9371	249Bh	指定された番号は、登録されていません。
9372 : 9375	249Ch : 249Fh	予約
9376	24A0h	ファイル (Core.ID) が壊れています。
9377 : 9389	24A1h : 24ADh	予約
9390	24AEh	指定されたハンドルのモードが EASY_TB_STATUS_NOW あるいは EASY_TB_STATUS_LAST_READ です。\\n モードを WASY_TB_STATUS_PAST あるいは EASY_TB_STATUS_INDEX に設定してから実行してください。
9391	24AFh	指定された LS エリアを開けませんでした。
9392	24B0h	指定された LS エリアは開かれていません。
9393	24B1h	CF カード内のファイル一覧取得に失敗しました。
9394	24B2h	CF カード内のファイル読み出しに失敗しました。
9395	24B3h	CF カード内のファイル書き込みに失敗しました。
9396	24B4h	CF カードが挿入されていません。
9397	24B5h	CF カードが初期化されていません。
9398	24B6h	CF カードに異常があります。
9399	24B7h	指定されたファイル名にアクセスできません。
9400	24B8h	ProEasy.DLL の関数が二重に呼び出されました。PfnApiEasy.DLL の関数は既に実行中です。
9401	24B9h	指定された Pro-Server 用アクセスハンドルは有効ではありません。
9402	24BAh	Pro-Server は停止したため、処理できません。
9403	24BBh	OLE の関数でエラーが発生しました、データのコンバートが出来ません。
9404	24BCh	データの型変数で変換元のデータに有効なデータがありません / 足りません。
9405	24BDh	データの型変数で変換元と変換先のデータ型が変換可能な型ではありません。
9406	24BEh	指定された引数が有効な値ではありません。
9407	24BFh	タイムバーを作成できませんでした。

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9408	24C0h	シンボル名は登録されていません。
9409	24C1h	配信シートが開けません。
9410	24C2h	指定されたタイムバーはすでにロックされています。
9411	24C3h	指定されたハンドルはすでにリンクされています。
9412	24C4h	指定されたハンドルはリンクされていません。
9413	24C5h	指定されたハンドルはデータベースとリンクしていません。
9414	24C6h	指定されたハンドルは現在ロック中です。解除してから実行して下さい。
9415	24C7h	引数がまちがっています。
9416	24C8h	Date 型あるいは Date 型と互換性がある型にして下さい。
9417	24C9h	指定された時刻は範囲外の値です。
9418	24CAh	不正な引数が設定されています。
9419	24CBh	指定されたハンドルに対するデータベースは閉じられています。
9420	24CCh	データベースへの書き込みは許可されていません。
9421	24CDh	アクションコンテンツの INI ファイル ('%s') がオープンできません。
9422	24CEh	アクションコンテンツの INI ファイル ('%s') の '%s' が解析できません。
9423	24CFh	アクション '%s' はネットワークプロジェクトの中にインストールされていないアクションコンテンツを使用しています。
9424	24D0h	アクションが多すぎて登録できません。
9425	24D1h	指定されたアクションは既に登録されています。
9426	24D2h	アクション '%s' が使用するアクションコンテンツが起動できません。 指定されたアクションは登録されていません。
9427	24D3h	ActiveX I/F でエラーが発生しました。
9428	24D4h	指定されたアクションはレジストリに登録されました。
9429 : 9449	24D5h : 24E9h	予約
9450	24EAh	データが指定されていません。
9451	24EBh	指定された局名は登録されていません。
9452	24ECh	デバイス種別の指定が不正です。
9453	24EDh	局名とデバイス名を区切る ! が有りません。
9454	24EEh	有効なデバイス名の指定が有りません。
9455	24EFh	有効なデバイスが指定されていないので処理できません。
9456	24F0h	32 ビットデバイスへのワードアクセスは出来ません。
9457	24F1h	デバイスのアクセス範囲が有効範囲外です。
9458	24F2h	見かけ上のデバイス数の指定が不正です。
9459	24F3h	見かけ上のデバイス点数の指定が 0 が範囲を超えています。
9460	24F4h	指定されたシンボルを有効なデバイスに変更できません。

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9461	24F5h	数値指定エラー、値を正しく指定してください。
9462	24F6h	ライフタイムの指定が不正です。
9463	24F7h	ビット位置の指定が不正です。
9464 : 9469	24F8h : 24FDh	予約
9470	24FEh	指定された局に接続できません。
9471	24FFh	指定された局は Windows 搭載コンピュータのため、処理を実行できません。
9472	2500h	画面キャプチャデータの JPEG 保存に失敗しました。
9473	2501h	画面キャプチャ機能をサポートしていません。
9474	2502h	キャプチャ許可フラグが ON になっていません。
9475	2503h	CF カード内の空き容量の取得に失敗しました。
9476	2504h	データ転送機能をサポートしていません。
9477	2505h	ProNet.dll が正しくインストールされていません。
9478	2506h	2WayDriver のバージョンが 4.50 未満のため実行できません。
9479	2507h	予約
9480	2508h	CF カード内のファイル削除に失敗しました。
9481	2509h	CF カード内のファイル名変更に失敗しました。
9482	250Ah	ファイルが 256 文字を超えています。256 文字以内にしてください。
9483 : 9499	250Bh : 251Bh	予約
9500	251Ch	Pro-Server スケジュール管理スレッド初期化エラー
9501	251Dh	Pro-Server LAN 管理スレッド初期化エラー
9502	251Eh	Pro-Server タイマー管理スレッド初期化エラー
9503	251Fh	Pro-Server DDE 制御スレッド初期化エラー
9504	2520h	Pro-Server API 制御スレッド初期化エラー
9505	2521h	Pro-Server API パラメータエラー
9506	2522h	レスポンスタイムアウト
9507	2523h	Pro-Server が LAN の初期化に失敗しました。
9508	2524h	データがありません。
9509	2525h	無効なデバイスです。
9510	2526h	無効なアドレスです。
9511	2527h	アドレスが範囲外です。
9512	2528h	データタイプエラー
9513	2529h	伝文エラー
9514	252Ah	Pro-Server のキャッシュ機能が初期化できません。

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9515	252Bh	データベースを利用中のためネットワークプロジェクトをロードできません。
9516 : 9559	252Ch : 2557h	予約
9560	2558h	システムエラー (DLL のロードに失敗しました。)
9561	2559h	システムエラー (DLL のバージョンが古い可能性があります。)
9562	255Ah	システムエラー
9563	255Bh	指定されたプロパティ ID は定義されていません (バージョンが古い可能性があります。)
9564	255Ch	数値として不正な文字が指定されています。
9565	255Dh	文字数が多すぎます。
9566	255Eh	数値が大きすぎます。
9567	255Fh	システムエラー (COM が起動できません)
9568	2560h	システムエラー (GP-Viewer のランタイムを起動できませんでした)
9569	2561h	ファイルを開くことができませんでした。
9570	2562h	ファイルの読み込みに失敗しました。
9571	2563h	ファイルの書き込みに失敗しました。
9572	2564h	ファイル構造が不正です (タグがありません)
9573	2565h	ファイル構造が不正です (終了タグがありません)
9574	2566h	ファイル構造が不正です (予定外のエンドタグがあります)
9575	2567h	ファイル構造が不正です (シグネチャーが一致しませんでした)
9576	2568h	サポートしていないパラメータがあります。
9577	2569h	ファイルの最後に達しました。
9578	256Ah	ファイル構造が不正です。
9579	256Bh	メモリー不足のため処理できません。
9580	256Ch	デバイス名が解析できません。
9581	256Dh	DB 名が指定されていません。
9582	256Eh	DB にアクセスできません。
9583	256Fh	DB は他のプログラム (データビュー等) が既にロック (編集) しているため編集できません。
9584	2570h	局名かデバイス名が設定されていません。
9585	2571h	DB がクローズされていいて使用できません (NPJ をセーブ・ロードすると自動的に使用中の DB は一旦クローズされます。)
9586	2572h	データベースが壊れている可能性があります。
9587	2573h	データは蓄積されていません。
9588	2574h	指定された時間のデータを見つけることができませんでした。
9589	2575h	ポーリングの設定がされていません。



エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9590	2576h	データベースはオープンされていません (または既に閉じられました)
9591	2577h	既にポーリングは開始されています。
9592	2578h	最新の蓄積日時より古い日時のレコードを書き込もうとしています。
9593	2579h	指定されたレコードは削除されています。
9594	257Ah	指定されたファイルサイズを超えています。
9595	257Bh	指定されたファイル番号は存在しません。
9596 : 9599	257Ch : 257Fh	予約
9600	2580h	GP 内の資源が足りなくなり処理できません。
9601 : 9619	2581h : 2593h	予約
9620	2594h	ネットワークプロジェクトのアイテムが二重登録です (ネットワークプロジェクトファイルが壊れています)
9621 : 9639	2595h : 25A7h	予約
9640	25A8h	ネットワークプロジェクトファイルに登録されていない配信データを受信しました。
9641	25A9h	配信先局でデータの書き込みに失敗しました。
9642 : 9659	25AAh : 25BBh	予約
9660	25BCh	データの読み出しに失敗しました。
9661	25BDh	デバイスのリードでアクセス範囲異常です。
9662 : 9669	25BEh : 25C5h	予約
9670	25C6h	デバイスのライトでアクセス範囲異常です。
9671 : 9699	25C7h : 25E3h	予約
9700	25E4h	存在しない配信情報に対するファーストリガ成立コマンドを受信しました。
9701 : 9709	25E5h : 25EDh	予約
9710	25EEh	存在しない配信情報に対するセカンダトリガ成立コマンドを受信しました。
9711 : 9729	25EFh : 2601h	予約

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9730	2602h	GP がビジーです。画面転送中か、他の PC との間で SRAM バックアップデータ保存を実行中です。
9731	2603h	SRAM バックアップデータ読み出し異常です。(アイテム ID が前回と違います。)
9732	2604h	SRAM バックアップデータ読み出し異常です。(データ種別が前回と違います。)
9733	2605h	SRAM バックアップデータ読み出し異常です。(ブロック番号が前回と違います。)
9734	2606h	SRAM バックアップデータ読み出し異常です。(要求データ数が 0 か、前回と違います。)
9735 : 9739	2607h : 260Bh	予約
9740	260Ch	GP がビジーです。画面転送中か、他の PC との間で SRAM バックアップデータ保存を実行中です。
9741	260Dh	SRAM バックアップデータ書き込み異常です。(アイテム ID が前回と違います。)
9742	260Eh	SRAM バックアップデータ書き込み異常です。(データ種別が前回と違います。)
9743	260Fh	SRAM バックアップデータ書き込み異常です。(ブロック番号が前回と違います。)
9744	2610h	SRAM バックアップデータ書き込み異常です。(要求データ数が 0 か、前回と違います。)
9745 : 9749	2611h : 2615h	予約
9750	2616h	コマンド異常。
9751	2617h	CF カードのアクセスに失敗しました。
9752	2618h	CF カードユニットがありません。
9753 : 9779	2619h : 2633h	予約
9780	2634h	書き込みで PLC との通信エラーが発生しました。[詳細コード %02x:%04x]
9781	2635h	設定された SRAM バックアップデータが GP にはありません。
9782	2636h	GP の SRAM バックアップデータが異常です。[詳細コード %04x]
9783	2637h	新アラームブロックをサポートしていません。
9784 : 9789	2638h : 263Dh	予約
9790	263Eh	リモートアクセス権がありません。(リモート接続されていません)
9800	2648h	パラメータ・エラーが発生しました。
9801	2649h	配信データ数が許容範囲を超えました。

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9802	264Ah	ファイル作成時にエラーが発生しました。
9803	264Bh	EXCEL シート作成時にエラーが発生しました。
9804	264Ch	ファイル書き込み中にエラーが発生しました。
9805	264Dh	ファイルオープン時にエラーが発生しました。
9806	264Eh	読み取り専用ファイルのため終了しました。
9807	264Fh	印刷時にエラーが発生しました。
9808	2650h	保存先フォルダのアクセス権がありません。
9809	2651h	予約
9810	2652h	メッセージテーブルファイルが見つかりません。
9811	2653h	メッセージテーブルファイルが開けません。
9812	2654h	メッセージテーブルファイル内に指定のシートがありません。
9813	2655h	メッセージテーブルファイルが正しくありません。
9814	2656h	該当する有効なコードがありません。
9815	2657h	POP 認証中にエラーが発生しました。詳細はログビューアを参照してください。
9816	2658h	メールが送信できませんでした。詳細はログビューアを参照してください。
9817	2659h	一部のメールが送信できませんでした。詳細はログビューアを参照してください。
9818 9819	265Ah 265Bh	予約
9820	265Ch	指定のデータベースが見つかりません。
9821	265Dh	指定のテーブルが見つかりません。または、指定のテーブルにレコードが存在しません。
9822	265Eh	指定のフィールド名が見つかりません。
9823	265Fh	指定対象データは見つかりませんでした。
9824	2660h	フィールドのデータが不正です。
9825	2661h	認証に失敗しました。
9826	2662h	データベースアクセス中にエラーが発生しました。
9827	2663h	ProServer ハンドルの取得に失敗しました。
9828	2664h	文字データがありませんでした。
9829 : 9839	2665h : 266Fh	予約
9840	2670h	アクションレポートシートのテンプレートが開けないか、シートが追加できません。
9841	2671h	EXCEL の起動に失敗しました。
9842	2672h	テンプレートブックが開けません。
9843	2673h	アクションシステムエラー

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9844	2674h	出力ブックを保存できません。
9845	2675h	指定されたテンプレートシート (%s) はテンプレート内にありません。
9846	2676h	シートの追加に失敗しました。
9847	2677h	コマンド (%s) が解釈できないため実行できません。
9848	2678h	印刷に失敗しました。
9849	2679h	指定されたデータの種類のサポートしていません。
9850	267Ah	Pro-Sever のバージョンが古いため実行できません。
9851	267Bh	アクションレポートシートが壊れています。
9852	267Ch	指定されたグループはありません。
9853	267Dh	画像を貼り付ける事ができません。
9854	267Eh	ファイルヘッダーが壊れています、リードできません。
9855	267Fh	指定された CSV ファイル (%s) がオープンしません。
9856	2680h	書き込みエリアのサイズが小さすぎます。
9857	2681h	テンポラリーファイルが作製できません、もしくは読めません。
9858	2682h	GP/GLC 内に有効なファイルは一つもありません。
9859	2683h	指定されたデータ型はサポートしていません。
9860	2684h	ファイル名が長すぎて出力ブックが作れません。
9861	2685h	マクロの実行でエラーが発生しました、詳細はログビューアを参照してください。
9862	2686h	GP の画面キャプチャデータの保存に失敗しました。
9863	2687h	許可フラグが ON になっているか確認してください。
9864	2688h	保存ファイル名の指定が異常です。
9865	2689h	CF カード内に指定されたファイルがありませんでした。
9866	268Ah	ブラウザ・アプリケーションが所定のフォルダにありません。ブラウザに表示することができません。
9870	268Eh	バイナリファイルのダウンロード中にエラーが発生しました。
9871	268Fh	バイナリファイルの読み出しに失敗しました。
9872	2690h	バイナリファイルのオープン時にエラーが発生しました。
9873	2691h	バイナリファイルの解析に失敗しました。
9874	2692h	EXCEL ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。
9875	2693h	CSV ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。
9876	2694h	バイナリファイルの生成に失敗しました。
9877	2695h	指定されたファイルが存在しません。
9878	2696h	EXCEL ファイルからバイナリファイルの変換に失敗しました。
9879	2697h	CSV ファイルからバイナリファイルの変換に失敗しました。
9880	2698h	配信されたデータが範囲外です。

エラーコード		メッセージ
10 進	16 進	
9881	2699h	GP ログデータのアップロードに失敗しました。
9882	269Ah	バックアップするデータがありません。
9883	269Bh	データが 1 シートに収まりません。
9884	269Ch	Microsoft Excel がマシン上に存在しません。
9885	269Dh	パラメータの内容が不正です。
9886	269Eh	データの書き込みに失敗しました。
9887	269Fh	CSV ファイルの読み込みに失敗しました。
9888	26A0h	不要なファイルを削除する際にエラーが発生しました。
9889	26A1h	アクションが失敗に終わりました。
9891	26A3h	ACCESS ファイルに一致するデータがありません。
9892	26A4h	コマンド・エラー
9893	26A5h	ACCESS データへのアップロードに失敗しました。
9894	26A6h	指定されたテーブルを開くことができません。

2580h、25A8h、25A9h については、「36.2 2Way ドライバのエラー表と Syslog 機能」をご覧ください。

